

令和5年度 事業報告書



社会福祉
法人

相模原市社会福祉協議会

目 次

令和5年度 事業実施概要	ページ 1 ~ 3
実施事業報告	4 ~ 87

①法人運営事業

	事業名	ページ
1	一般会員の加入	6
2	理事会等の開催	
3	苦情解決事業	10
4	事務局の運営	11
5	共同募金会相模原市支会の運営	13
6	相模原市民生委員児童委員協議会の運営支援	14
7	相模原市地区社会福祉協議会の運営支援	15
8	部会活動推進事業	16
9	課題別検討委員会の開催	
10	福祉のしごと・魅力発信事業	17
11	広報紙社協さがみはら「みんないいひと」の発行	18
12	相模原市社会福祉大会「市民みんないいひとの日」の開催	19
13	賛助会員募集事業	
14	録音・点字版社協さがみはらの発行	20
15	マスコットキャラクターを活用したPR	
16	寄付促進推進事業	

②地域福祉推進事業

	事業名	ページ
1	地区社協情報コーナーの設置	21
2	福祉情報ネットワーク推進事業	
3	地域の支えあい応援事業(地域福祉推進員の設置)	
4	地域の支えあい応援事業(地域福祉支援員の設置)	
5	地域の支えあい応援事業(賛助会員会費の配分)	
6	地域の支えあい応援事業(サロン活動支援事業)	
7	福祉コミュニティ形成事業	22
8	交通遺児援護事業	27
9	南区地域福祉交流라운ジの運営	
10	民生委員・児童委員研修事業	
11	福祉教育活動推進事業	30
12	ふれあいデイホーム事業	32
13	インターネット等活用福祉情報提供事業	
14	地域の支えあい応援事業(地区社協育成費補助金)	33
15	災害見舞金の支給	
16	就職支度費等一時給付事業(生活困窮者世帯就職活動応援事業)	
17	食料品等緊急一時給付事業	34
18	生活困窮者支援団体応援事業	
19	子ども健やか育成事業	
20	子どもの居場所創設サポート事業	
21	市民活動育成支援事業	37
22	ボランティアセンター運営事業	40

事業名	ページ
23 いるかバンクの運営	41
24 防災ボランティア推進事業	42
25 ボランティア協会活動助成	45
26 地区住民相談支援活動推進事業	
27 生活支援体制整備事業	49
28 重層的支援体制整備モデル事業	57
29 パートナーシップ促進事業	60

③あんしんセンター事業

事業名	ページ
1 日常生活自立支援事業	64
2 法人後見事業	66
3 成年後見制度利用促進事業	67
4 市民後見人養成事業	70
5 身元保証・死後事務支援	72

④在宅福祉推進事業

事業名	ページ
1 ひとり暮らし高齢者等給食サービス事業	73
2 福祉用具無料貸出事業	74
3 ファミリー・サポート・センター事業	
4 生活福祉資金の貸付事務	76
5 生活資金一時貸付事業	77
6 要援護世帯生活資金貸付事業	
7 ひとり親家庭高等職業訓練促進資金貸付事業	78
8 社会福祉事業振興資金貸付事業	

⑤住民参加推進事業

事業名	ページ
1 ふれあいサービス(有料家事援助サービス)事業	79
2 要介護認定調査事業	80
3 障害支援区分認定調査事業	
4 介護支援ボランティア事業	81
5 福祉従事者メンタルヘルス相談事業	

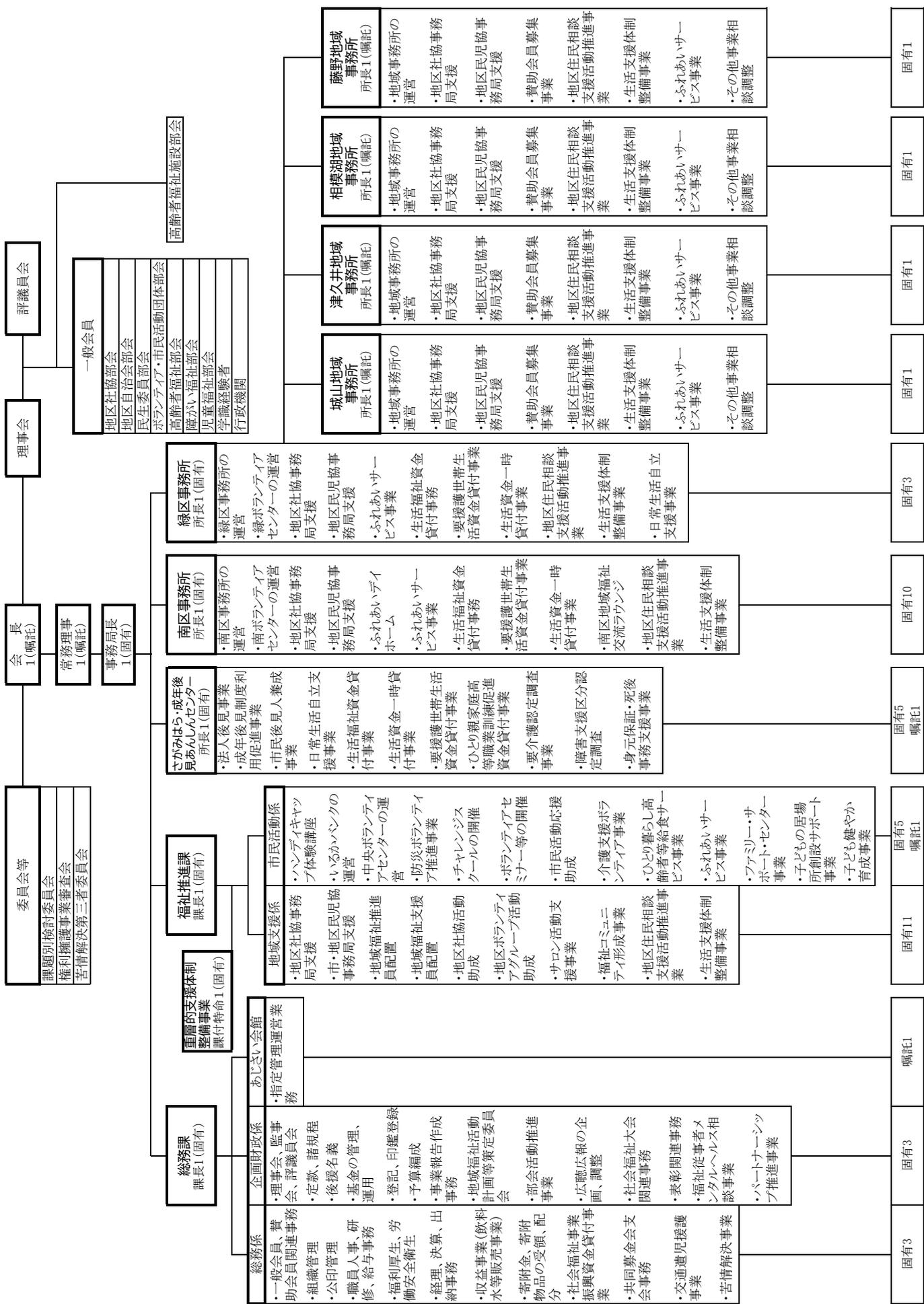
⑥市民福祉会館運営事業

事業名	ページ
1 あじさい会館管理運営事業	83
2 あじさい会館南分室(南保健福祉センター内)	86
3 あじさい会館緑分室(緑区合同庁舎内)	87

⑦収益事業

事業名	ページ
1 飲料水等販売・自動販売機等運営事業	87

相模原市社会福祉協議会組織図(令和5年4月1日現在)



- 評議員会**
- 一般会員
 - 地区社協部会
 - 地区自治会部会
 - 民生委員部会
 - ボランティア・市民活動団体部会
 - 高齢者福祉部会
 - 障がい福祉部会
 - 児童福祉部会
 - 学識経験者
 - 行政機関
- 理事会**
- 会長 1(嘱託)
 - 常務理事 1(嘱託)
 - 事務局長 1(固有)

- 委員会等**
- 課題別検討委員会
 - 権利擁護事業審査会
 - 苦情解決第三者委員会

総務課 課長1(固有)

- 総務係
 - 一般会員、賛助会員関連事務
 - 組織管理
 - 公印管理
 - 職員人事、研修、給与事務
 - 福利厚生、労働安全衛生
 - 経理、決算、出納事務
 - 収益事業(飲料水等販売事業)
 - 寄附金、寄附物品の受領、配分
 - 社会福祉事業振興資金貸付事業
 - 共同募金支会事務
 - 交通連児援護事業
 - 苦情解決事業
- 企画財政係
 - 理事会、監事会、評議員会
 - 定款、諸規程
 - 後援名義運用
 - 基金の管理、運用
 - 登記、印鑑登録
 - 予算編成
 - 事業報告作成
 - 地域福祉活動計画等策定委員会
 - 都会活動推進事業
 - 広報広報の企画、調整
 - 社会福祉大会関連事務
 - 表彰関連事務
 - 福祉従事者メダルのヘルス相談事業
 - パートナーシップ推進事業
- 福祉推進課 課長1(固有)
 - 地域支援係
 - 地区社協事務局支援
 - 市・地区民児協事務局支援
 - 地域福祉推進員配置
 - 地域福祉支援員配置
 - 地区社協活動助成
 - 地区ボランティアグループ活動助成
 - サロン活動支援事業
 - 福祉コミュニティ形成事業
 - 地区住民相談支援活動推進事業
 - 生活支援体制整備事業
 - 市民活動係
 - ハンディキャップ体験講座
 - いなかバンクの運営
 - 中央ボランティアセンターの運営
 - 防災ボランティア推進事業
 - チャレンジスクールの開催
 - ボランティアセミナー等の開催
 - 市民活動応援助成
 - 介護支援ボランティア事業
 - 高齢者等給食サービス事業
 - ふれあいサービスマスター事業
 - ファミリーサポート・センター事業
 - 子どもの居場所創設サポート事業
 - 子ども健やか育成事業

ヤカみはら見あしんセンター 所長1(固有)

- 法人後見事業
- 成年後見制度利用促進事業
- 市民後見人養成事業
- 日常生活自立支援事業
- 生活福祉資金貸付事業
- 生活資金一時貸付事業
- 要保護世帯生活資金貸付事業
- ひとり親家庭高等職業訓練促進資金貸付事業
- 要介護認定調査事業
- 障害支援区分認定調査
- 身元保証・死後事務支援事業

南区事務所 所長1(固有)

- 南区事務所の運営
- 南ボランティアセンターの運営
- 地区社協事務局支援
- 地区民児協事務局支援
- ふれあいデイホーム
- ふれあいサービスマスター事業
- 生活福祉資金貸付事業
- 要保護世帯生活資金貸付事業
- 生活資金一時貸付事業
- 南区地域福祉交流ワークショップ
- 地区住民相談支援活動推進事業
- 生活支援体制整備事業

緑区事務所 所長1(固有)

- 緑区事務所の運営
- 緑ボランティアセンターの運営
- 地区社協事務局支援
- 地区民児協事務局支援
- ふれあいサービスマスター事業
- 生活福祉資金貸付事業
- 要保護世帯生活資金貸付事業
- 生活資金一時貸付事業
- 地区住民相談支援活動推進事業
- 生活支援体制整備事業
- 日常生活自立支援事業

城山地域事務所 所長1(嘱託)

- 地域事務所の運営
- 地区社協事務局支援
- 地区民児協事務局支援
- 賛助会員募集事業
- 地区住民相談支援活動推進事業
- 生活支援体制整備事業
- ふれあいサービスマスター事業
- その他事業相談調整

津久井地域事務所 所長1(嘱託)

- 地域事務所の運営
- 地区社協事務局支援
- 地区民児協事務局支援
- 賛助会員募集事業
- 地区住民相談支援活動推進事業
- 生活支援体制整備事業
- ふれあいサービスマスター事業
- その他事業相談調整

相模湖地域事務所 所長1(嘱託)

- 地域事務所の運営
- 地区社協事務局支援
- 地区民児協事務局支援
- 賛助会員募集事業
- 地区住民相談支援活動推進事業
- 生活支援体制整備事業
- ふれあいサービスマスター事業
- その他事業相談調整

藤野地域事務所 所長1(嘱託)

- 地域事務所の運営
- 地区社協事務局支援
- 地区民児協事務局支援
- 賛助会員募集事業
- 地区住民相談支援活動推進事業
- 生活支援体制整備事業
- ふれあいサービスマスター事業
- その他事業相談調整

固有3

嘱託1

固有11

固有5 嘱託1

固有10

固有3

固有1

固有1

固有1

固有1

固有1

固有1

固有1

固有1

固有3

嘱託1

固有3

固有3

令和5年度 事業実施概要

1 はじめに

「第9次相模原市社会福祉協議会地域福祉活動計画」（令和2年度～令和5年度）」の実現に向け、企業・法人によるSDGsへの取組など、多種多様な主体の参画による地域福祉を進めてまいりましたが、新型コロナウイルス感染症の影響が長期化する中で、「社会的な孤立の深刻化」「失業・減収した人の増加」「ひきこもり」などの複雑・複合的な地域生活課題がより顕在化してきました。

このような状況の中、コミュニティソーシャルワーカーによる個別支援等を通じて地域生活課題の把握に努めました。身寄りのない方の身元保証・死後事務を支援する「見守りエンディングサポート事業」では、高齢の単身世帯を対象とした「終活サロン」を実施し啓発を進めました。また、コロナ禍より継続している女性のつながりサポート事業では「非正規雇用ではたらく単身女性の相談会」など、地域住民をはじめ企業・法人、社会福祉施設等との連携により解決に向けた取組を進めました。

また、地域共生社会の実現に向け、包括的な支援体制を円滑に構築・実践する仕組みづくりを進める「重層的支援体制整備モデル事業」の一部を市から受託し、地域が進める取組や地域資源等の情報を一元的に管理・公開する「さがみんナビ」の運用を市主導のもと開始しました。

2 重点的な取組

(1) 小地域の支えあい活動を促進

ア 市内22地区に配置するコミュニティソーシャルワーカー（CSW）が地区社協や自治会、地区民児協、老人会、地域包括支援センター等との連携、協力のもと、地域にある「困りごと」を持ち寄り、地域を基盤とする支えあい活動の創設等に取り組みました。

また地区の取組について、ホームページやSNS等を通じて広く市民に発信しました。

イ 相模原市より「重層的支援体制整備モデル事業」の一部を受託し、新たな地域共生社会に向けた地域づくりを進めるため専任職員1名を配置し、市が定めたモデル地区（藤野地区・田名地区・大野南地区）における地域資源を調査・整理するとともに研修会を実施し、地域の社会資源を活用した地域づくりや、社会資源のデータベース化を図りました。

(2) 「子ども・若者支援活動団体」相互の連携・協働を促進

福祉的な「困りごと」を抱える子ども・若者の居場所や社会参加の場づくりを目的に、子ども・若者支援団体への助成金交付、相談支援を通じ、

各団体が抱える「困りごと」を把握し、団体相互が「困りごと」を共有する場づくり、解決に向けた連携・協働のきっかけづくりを進めました。

子ども・若者を支援する市民福祉活動団体への助成実績

助成事業	助成金交付団体	助成金交付額
子ども健やか育成事業	32団体	6,122,958円
生活困窮者支援団体応援事業	7団体	1,208,358円
市民活動育成支援事業	13団体	1,286,250円

(3) 高齢者・障がい者等の権利擁護の総合的な支援事業を推進

ア 判断能力が不十分な高齢者や障がいのある方が地域で安心して暮らせるよう、ご本人との契約に基づき、福祉サービスの利用援助を行う「日常生活自立支援事業」の充実を図るとともに、新たに相模原市より、「中核機関」を受託し、権利擁護支援を必要とする方を適切な支援につなげるため、各関係機関や専門職団体等で構成された「地域連携ネットワーク」の構築など、成年後見制度の利用促進に取り組みました。

日常生活自立支援事業実利用者数

認知症高齢者等	障がい者			その他	合計
	知的	精神	身体		
61人	31人	75人	7人	2人	176人

主な成年後見制度利用促進事業の実績

内容	件数
成年後見一般相談（職員対応）の開催	422件
成年後見専門相談（司法書士等対応）の開催	月4回（相談件数69人）
成年後見制度等説明会への講師派遣	3件
成年後見制度無料相談会の開催	年4回（参加人数68人）

成年後見等受任実利用者数

認知症高齢者等	障がい者		合計
	知的	精神	
9人	8人	7人	24人

イ 身寄りがない、あるいは、家族や親族からの支援が受けにくい高齢者等に対する入院、施設入所に際しての支援、また、本人の死亡時の埋葬や家財の処分等を支援する「見守りエンディングサポート事業」を実施しました。また、同じような境遇にある高齢者同士が交流し、相互に情報の共有や交換ができる機会の確保を目的に、おひとりさまの「終活サロン」を中央区と緑区で実施しました。

内容	件数
問い合わせ件数	59件
相談件数	49件
契約者数	5件
おひとりさま終活サロン参加人数	48人

(4) 市民や企業・法人等の福祉活動への参加を促進

SDGs や社会貢献活動への関心が高まる中、企業や学生からのボランティア相談が増加したため、相談者に向けてのボランティアセミナーの開催や、企業・法人等と市民福祉団体とのコーディネートを進めました。

(5) 本会の発展に向けた経営基盤の強化

「強化発展計画（令和3年度～令和5年度）」の取組目標である、「市社協の総合力を発揮する組織力の強化」「自らの役割の発揮と職員が育ちあう人材育成の充実」に向け、職員が部署を越え横断的に集まり、地域生活課題の共有や解決に向けた取組の検討を通じ、業務の相互理解を進めるなど自己及び職員同士の資質向上を図りました。

また、「市社協のファンを増やす 経営の安定」では、ホームページやInstagram、ブログなどのSNSを積極的に活用するとともに検討し、情報発信の充実に取り組みました。

実 施 事 業 報 告

凡 例：事業名の次行右に財源名(括弧書き)及び執行済額を記載
補助 市・県社協補助金
共募 共同募金配分金
受託 市・県社協受託金
自主 自主財源(賛助会費、寄付金、事業収入等)

SDGs を踏まえた事業の推進

SDGs (Sustainable Development Goals) は、2015年9月の国連サミットで採択された2030年までに「持続可能でよりよい世界」を目指す国際目標で、17のゴールから構成され、地球上の「誰一人取り残さない (leave no one behind)」ことを誓っています。

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS



SDGs の17のゴールは、社会的に弱い立場にある方々を含めて、一人ひとりを排除や孤独から守り、社会（地域社会）の一員として取り組み、支えあう考え方です。

日本では、豊かで活力のある「誰一人取り残さない」社会を実現するために、2020年から10年間にわたり、目標達成に向けて積極的に取り組んでいくことが明言されています。

本会では、その目標達成を意識し、「さがみはら SDGs パートナー制度」に登録し、地域にある「困りごと」への対応や市民による支えあい活動の推進等に取り組んでいきます。



さがみはら
SDGs
パートナー
さがみはら 2020 10月10日

《本事業と特に関連の深い目標》



※相模原市社会福祉協議会は、持続可能な開発目標 (SDGs) の達成に向けた取組を進めています。

① 法人運営事業

1 一般会員の加入

一般会員内訳

種 別	会員区分	会員数
第1種会員	地区社会福祉協議会	22
第2種会員	地区自治会連合会	22
第3種会員	地区民生委員児童委員協議会	22
第4種会員	ボランティア・市民活動を行う団体	17
第5種会員	高齢者福祉を目的とする施設及び団体	62
第6種会員	障がい福祉を目的とする施設及び団体	81
第7種会員	児童福祉を目的とする施設及び団体	90
第8種会員	学識経験者	7
第9種会員	関係行政機関	2
合 計		325

2 理事会等の開催

(自主) 881,819 円

組織体制

役員等	人 数
理 事	13 人
監 事	2 人
評議員	20 人

理事会の開催（6回）

開催月日	出席者	内 容	
<第1回> 令和5年6月9日（金）	理事 12 人 監事 2 人	議案第1号 議案第2号 議案第3号 議案第4号 議案第5号 報告第1号 報告第2号 報告第3号 報告第4号 報告第5号	令和4年度社会福祉法人相模原市社会福祉協議会事業報告及び決算並びに監査報告について 一般会員の入会について 一般会員の推薦について 評議員選任候補者の同意について 評議員会の招集について 専決処分について（令和4年度社会福祉法人相模原市社会福祉協議会社会福祉事業区分補正予算（第2号）） 専決処分について（令和4年度社会福祉法人相模原市社会福祉協議会公益事業区分補正予算（第1号）） 専決処分について（社会福祉法人相模原市社会福祉協議会職員の育児休業等に関する規程の一部を改正する規程） 部会等における理事及び監事の推薦結果について 令和4年度資金運用結果について
<第2回> 令和5年6月27日（火）	理事 10 人 監事 2 人	議案第6号 そ の 他	会長、副会長及び常務理事の選定について 地域福祉活動計画等策定委員会の進捗状況等について
<第3回> 令和5年9月12日（火）	理事 13 人 監事 2 人	議案第7号 議案第8号 議案第9号 報告第6号	社会福祉法人相模原市社会福祉協議会顕彰規程に基づく令和5年度顕彰者の決定について 指導監査結果に係る改善措置について 評議員会の招集について 会長及び常務理事の職務の執行状況について
<第4回> 令和5年12月8日（金）	決議の省略 理事 13 人 監事 2 人	議案第10号 議案第11号	社会福祉法人相模原市社会福祉協議会電子取引データの訂正及び削除の防止に関する事務処理規程の制定について 評議員会の招集について

<p><第5回> 令和6年1月18日(木)</p>	<p>理事 13人 監事 2人</p>	<p>議案第12号 社会福祉法人相模原市社会福祉協議会生活資金一時貸付規程の一部を改正する規程について</p> <p>議案第13号 令和6年度あじさい基金等資金運用計画の策定について</p> <p>議案第14号 評議員会の招集について</p> <p>報告第7号 専決処分について(社会福祉法人相模原市社会福祉協議会職員給与規程の一部を改正する規程)</p> <p>報告第8号 相模原市立あじさい会館指定管理者の終了について</p> <p>その他 第10次相模原市社会福祉協議会地域福祉活動計画(案)の概要について</p>
<p><第6回> 令和6年3月8日(金)</p>	<p>理事 12人 監事 2人</p>	<p>議案第15号 社会福祉法人相模原市社会福祉協議会定款の変更について</p> <p>議案第16号 社会福祉法人相模原市社会福祉協議会事務局の組織及び職制に関する規程の一部を改正する規程について</p> <p>議案第17号 社会福祉法人相模原市社会福祉協議会事務専決規程の一部を改正する規程について</p> <p>議案第18号 社会福祉法人相模原市社会福祉協議会公印規程の一部を改正する規程について</p> <p>議案第19号 社会福祉法人相模原市社会福祉協議会経理規程の一部を改正する規程について</p> <p>議案第20号 社会福祉法人相模原市社会福祉協議会ボランティアセンター設置管理規程の全部を改正する規程について</p> <p>議案第21号 社会福祉法人相模原市社会福祉協議会評議員選任委員会運営細則の一部を改正する細則について</p> <p>議案第22号 社会福祉法人相模原市社会福祉協議会役員等の報酬及び費用弁償に関する規程の一部を改正する規程について</p> <p>議案第23号 社会福祉法人相模原市社会福祉協議会非常勤職員等就業規程の一部を改正する規程について</p> <p>議案第24号 第10次相模原市地域福祉活動計画の策定について</p> <p>議案第25号 令和6年度社会福祉法人相模原市社会福祉協議会事業計画及び予算について</p> <p>議案第26号 生活資金一時貸付の償還免除について</p> <p>議案第27号 社会福祉法人相模原市社会福祉協議会生活資金一時貸付規程の一部を改正する規程について</p> <p>議案第28号 役員等損害賠償責任保険契約について</p>

		議案第 29 号 評議員会の招集について 報告第 9 号 会長及び常務理事の職務の執行状況について
--	--	--

監査の実施 (1回)

月日	出席者	内 容
令和 5 年 5 月 25 日 (木)	監 事 2 人	監査の対象 令和 4 年度に執行した事業及び財産に関する収支書類

評議員会の開催 (5回)

開催月日	出席者	内 容
<第 1 回> 令和 5 年 6 月 27 日 (火)	評議員 17 人	議案第 1 号 令和 4 年度社会福祉法人相模原市社会福祉協議会事業報告及び決算並びに監査報告について 議案第 2 号 役員の選任について 報告第 1 号 専決処分について (令和 4 年度社会福祉法人相模原市社会福祉協議会社会福祉事業区分補正予算 (第 2 号)) 報告第 2 号 専決処分について (令和 4 年度社会福祉法人相模原市社会福祉協議会公益事業区分補正予算 (第 1 号)) 報告第 3 号 専決処分について (社会福祉法人相模原市社会福祉協議会職員の育児休業等に関する規程の一部を改正する規程) 報告第 4 号 一般会員の入会について 報告第 5 号 令和 4 年度資金運用結果について
<第 2 回> 令和 5 年 9 月 21 日 (木)	評議員 15 人	報告第 6 号 社会福祉法人相模原市社会福祉協議会顕彰規程に基づく令和 5 年度顕彰者について 報告第 7 号 指導監査結果に係る改善措置について 報告第 8 号 会長及び常務理事の職務の執行状況について
<第 3 回> 令和 5 年 12 月 22 日 (金)	決議の省略 評議員 20 人	議案第 3 号 社会福祉法人相模原市社会福祉協議会電子取引データの訂正及び削除の防止に関する事務処理規程の制定について
<第 4 回> 令和 6 年 2 月 8 日 (木)	評議員 16 人	議案第 4 号 社会福祉法人相模原市社会福祉協議会生活資金一時貸付規程の一部を改正する規程について 報告第 9 号 専決処分について (社会福祉法人相模原市社会福祉協議会職員給与規程の一部を改正する規程) 報告第 10 号 令和 6 年度あじさい基金等資金運用計画について 報告第 11 号 相模原市立あじさい会館指定管理者の終了について

<第5回> 令和6年3月25日(月)	評議員 19 人	議案第5号	社会福祉法人相模原市社会福祉協議会定款の変更について
		議案第6号	社会福祉法人相模原市社会福祉協議会事務局の組織及び職制に関する規程の一部を改正する規程について
		議案第7号	社会福祉法人相模原市社会福祉協議会事務専決規程の一部を改正する規程について
		議案第8号	社会福祉法人相模原市社会福祉協議会公印規程の一部を改正する規程について
		議案第9号	社会福祉法人相模原市社会福祉協議会経理規程の一部を改正する規程について
		議案第10号	社会福祉法人相模原市社会福祉協議会ボランティアセンター設置管理規程の全部を改正する規程について
		議案第11号	社会福祉法人相模原市社会福祉協議会役員等の報酬及び費用弁償に関する規程の一部を改正する規程について
		議案第12号	社会福祉法人相模原市社会福祉協議会非常勤職員等就業規程の一部を改正する規程について
		議案第13号	第10次相模原市地域福祉活動計画の策定について
		議案第14号	令和6年度社会福祉法人相模原市社会福祉協議会事業計画及び予算について
		議案第15号	生活資金一時貸付の償還免除について
		議案第16号	社会福祉法人相模原市社会福祉協議会生活資金一時貸付規程の一部を改正する規程について
		報告第12号	会長及び常務理事の職務の執行状況について

3 苦情解決事業

(自主) 11,000 円

提供するサービスや事業に対する市民からの苦情、要望等に適切に対応した。

苦情受付内容

事業名	件数
ボランティアセンター運営事業	1件
ひとり暮らし高齢者等給食サービス事業	1件
ふれあいサービス事業	1件
あんしんセンター事業	1件
生活福祉資金貸付事業	2件
合計	6件

4 事務局の運営

(補助・自主) 489,806,479 円

1) 事務局運営

市民福祉活動支援、権利擁護に係る利用者支援及び関係機関・団体とのネットワーク構築に必要な個別支援、連絡調整等に係る人員の確保に向け、事務事業の見直しを進めた。

職員体制

職名	人数
固有職員	51人
嘱託職員	8人
非常勤職員	162人
合計	221人

事務局体制

事務局
○総務課 企画財政係、総務係、あじさい会館
○福祉推進課 地域支援係、市民活動係
○さがみはら成年後見・あんしんセンター
○緑区事務所 城山地域事務所 津久井地域事務所 相模湖地域事務所 藤野地域事務所
○南区事務所

職員研修の実施

開催月日	参加	内容
令和5年7月28日(金)	固有職員 嘱託職員	職員全体研修 ○地域福祉活動計画等策定委員会経過説明 説明 市社協総務課長 ○講義「若者・学生と地域づくり～若者による社会活動への取組 実践を通じた参加の機会づくりを学ぶ」 講師 相模女子大学 社会マネジメント学科 准教授 松崎 吉之助
令和5年12月20日(水)	固有職員	階層別研修(入職3年以内※新卒・第2新卒のみ) ○演習 ・県社協新人フィールドワークについて発表 ○懇談会 ・仕事の悩みや進め方について
令和6年2月14日(水)	固有職員	階層別研修(主事・主任級) ○演習 『プレゼンテーション実習』

		<p>e-ラーニング「マスコミ視点の説明力向上講座」を事前視聴。 住民への説明を想定し「市社協について」又は「自分の業務」について、グループ内で模擬プレゼンテーションを行った。</p> <p>○社協と共同募金等との関係としくみ 説明 市社協 共同募金担当</p> <p>○能登半島地震中能登町災害ボランティアセンター状況報告 説明 市社協 災害派遣職員</p>
令和6年2月27日(火)	固有職員	<p>階層別研修(主査・副主任)</p> <p>○講義およびグループワーク 「後輩を育てるためのよりよい職場づくり ～スーパービジョンの視点から学ぶ～」</p> <p>講師：田園調布学園大学 人間福祉学部社会福祉学科 准教授 松本 葉子 氏</p>

2) 本会強化発展計画に基づいた経営基盤の強化

本会強化発展計画(令和3年度～令和5年度)の各取組目標に向けて以下事業を実施した。

ア 「市社協の総合力を発揮する組織力の強化」及び「自らの役割の発揮と職員が育ちあう人材育成の充実」について

○本会職員によるワーキンググループ

- ・女性のつながりサポート事業プロジェクトチーム(P61再掲)

会議開催：女性を取り巻く課題検討 令和5年4月～令和6年3月 7回開催

ふたばRoom開催：10代・20代のための居場所として開催

○職員の人材育成

階層別研修では、講師による対面研修、e-ラーニングによるオンライン研修を各階層等の課題に合わせて実施した。(新人職員、主事・主任、主査・副主任、職場指導員等)

また、固有職員対し人材育成職員アンケートを実施した。

イ 「市社協のファンを増やす 経営の安定」について

○市民に向けた取組の周知

- ・広報紙の他、Instagram、ブログ、ホームページ等のSNSにおいて、市社協事業や地域福祉活動等の取組を積極的に情報発信し、市民への周知を図った。

3) 情報の公開、事業運営の透明性の確保

理事会や評議員会の議事録等の経営情報や、事業報告・決算及び事業計画・予算等運営状況等の情報をホームページや広報紙等を通じて公開し、事業運営の透明性を図った。

4) 寄付金の受入れ

寄付金の受入れ状況

区 分	件 数	金 額
社会福祉のために	108 件	7,084,255 円
交通遺児のために	10 件	1,345,324 円
障がい福祉のために	2 件	367,206 円
子ども健やか育成基金のために	15 件	2,202,130 円
その他	7 件	24,000 円
合 計	142 件	11,022,915 円

5) 寄付物品の受入れ

寄付物品の受入れ状況

区 分	個 人	団 体	合 計
日 用 品	12 件	8 件	20 件
紙 お む つ	16 件	1 件	17 件
福 祉 用 具 等	1 件	1 件	2 件
雑 貨 等	6 件	1 件	7 件
コロナ感染予防用品	1 件	— 件	1 件
食 料 品	2 件	8 件	10 件
衣 類 等	10 件	3 件	13 件
そ の 他	— 件	1 件	1 件
合 計	48 件	23 件	71 件

5 共同募金会相模原市支会の運営

共同募金の募集・受配実績

区 分	実績額	県共同募金会からの受配額
赤い羽根募金	28,240,886 円	11,061,288 円
年末たすけあい募金	12,761,697 円	12,761,697 円
合 計	41,002,583 円	23,822,985 円

募金種別の募集実績額内訳

区 分	金 額
戸別募金	36,008,530 円
街頭募金	1,240,229 円
法人募金	1,753,097 円
学校校内募金	453,547 円
職域募金	748,417 円
イベント募金	40,947 円
その他	757,816 円
合 計	41,002,583 円

受配額の内訳

内 容	金 額
社会福祉施設の支援のために	500,000 円
在宅福祉サービス団体等の支援のために	1,300,000 円
本会の事業推進のために	5,441,288 円
年末たすけあい配分事業等に	12,761,697 円
災害見舞金の支給	260,000 円
市支会運営費のために	3,560,000 円
合 計	23,822,985 円

○ 合同会議の開催

実施概要

開催月日	内 容
<全体開催>令和5年 4月12日(水)	令和4年度共同募金運動実績報告
<緑区開催>令和5年 8月7日(月)	令和5年度共同募金運動実施計画
<中央区開催> 8月8日(火)	
<南区開催> 8月17日(木)	

6 相模原市民生委員児童委員協議会の運営支援

本会に相模原市民生委員児童委員協議会の事務局を置き、民生委員・児童委員の活動支援を行った。(研修会開催の支援については、②地域福祉推進事業の10 民生委員・児童委員研修事業を参照)

各種会議開催の支援

会議名	回 数
常任理事会	12 回
役員会	12 回
理事会	2 回

専門委員会等開催の支援

委員会名	回 数
地域福祉推進委員会	2 回
児童・子育て支援委員会	2 回
主任児童委員連絡会	4 回
広報委員会	7 回
機関紙編集会議	6 回
研修委員会	3 回

7 相模原市地区社会福祉協議会の運営支援

相模原市地区社会福祉協議会の事務局として、地区社会福祉協議会の活動支援を行った。

各種会議開催の支援

会議名	回数
全体会	4回
役員会	5回
緑区連絡会	6回
中央区連絡会	7回
南区連絡会	3回

各種部会開催の支援

会議名	回数
企画部会	3回
研修部会	3回
広報部会	2回

※各区連絡会で市長との意見交換会を行った。

視察の支援

開催月日	内容	会場
令和5年9月29日(金)	講師 認定NPO法人フリースペースたまり場 理事長 西野 博之氏	川崎市こども夢パーク

住民団体との意見交換会開催の支援

開催月日	住民団体名	会場
令和5年10月25日(水)	相模原市民生委員児童委員協議会	あじさい会館3階研修室
令和5年12月6日(水)	相模原市自治会連合会	けやき会館3階 市自治会連合会事務所

行政との意見交換会開催の支援

開催月日	行政機関名	会場
令和5年10月25日(水)	相模原市高齢・障害者福祉課	あじさい会館3階講習室
	相模原市こども未来局	
令和5年11月8日(水)	相模原市地域包括ケア推進課	あじさい会館3階研修室

8 部会活動推進事業

(自主) 157,384 円

1) 種別部会の開催

高齢者福祉部会・障がい福祉部会・児童福祉部会合同研修会 (講師都合により中止)

開催月日	内容	会場
令和5年5月24日(水)	『ディズニー流の人材育成～元ディズニーカリスマ人材トレーナーに聞く!』 講師：櫻井 恵里子氏 (産業能率大学経営学部准教授・元オリエンタルランド人材トレーナー)	相模原市民会館 3階 第1大会議室

2) 特別部会の開催

高齢者福祉施設部会

事業を運営する社会福祉法人により構成し、地域福祉の推進及び神奈川県社会福祉協議会老人福祉施設協議会(県老施協)等との連携を目的に開催した。

- 神奈川県社会福祉協議会老人福祉施設協議会との連携
 - ・神奈川県老人福祉施設協議会委員会への参加(委員5人)
 - ・関東ブロック老人福祉施設研究総会・かながわ高齢者福祉研究大会合同大会の企画・運営支援(実行委員会委員10人)
- 各種別施設協議会等との連携
 - ・全国老人福祉施設協議会
 - ・関東ブロック老人福祉施設連絡協議会
 - ・首都圏高齢者福祉協議会

9 課題別検討委員会の開催

(自主) 411,600 円

1) 第10次地域福祉活動計画等策定委員会の開催

現在進行中の「第9次地域福祉活動計画」の進行状況の確認や地域福祉課題を精査するとともに、現在の地域福祉課題の解決に向け、関係諸団体等と連携した支援の在り方や新たな仕組みの構築について検討を行い、さがみはら第10次地域福祉活動計画策定した。

【策定委員】

氏名	所属
委員長 松崎 吉之助	相模女子大学
副委員長 安藤 和実	橋本地区自治会連合会
田所 恒男	田名地区社会福祉協議会
戸部 恵美子	相模台地区民生委員児童委員協議会
佐藤 浩史	上溝地域包括支援センター
加賀谷 育子	ちゃれんじ光が丘
高本 辰彦	市健康福祉局地域包括ケア推進部

開催月日	会議等	内容
令和5年 6月29日(木)	第4回 地域福祉活動計画等 策定委員会	・地域生活課題等への取り組みに向けた調査結果の検証 ・市民、地区社協、地区民児協等の調査結果報告 ・学生・若者、社会福祉法人、企業等の調査結果報告
令和5年 8月28日(月)	第5回 地域福祉活動計画等 策定委員会	・当事者のヒアリング状況について ・第10次地域福祉活動計画の重点的な取組検討 (ワークショップ)
令和5年 10月10日(火)	第6回 地域福祉活動計画等 策定委員会	・第5期相模原市地域福祉計画について ・基本目標、取組の方向性の見直しと確認 ・計画冊子の項目・内容について
令和5年 12月19日(火)	第7回 地域福祉活動計画等 策定委員会	・第10次地域福祉活動計画冊子(案)の確認 ・第10次地域福祉活動計画の推進状況の確認について ・第10次地域福祉活動計画の活用方法、評価について
令和6年 2月26日(月)	第8回 地域福祉活動計画等 策定委員会	・第10次地域福祉活動計画(案)について ・策定に向けての今後の予定

○アンケート調査実施

- ・若者のボランティア活動に関する調査
期間：令和5年5月18日～6月30日
対象者：近隣の大学・短大・公立高校・イベント等（年代：中学生～20代）
回答数：233名
- ・社会福祉施設等の地域貢献活動促進に向けたアンケート調査
実施期間：令和5年5月18日～6月16日
対象団体：高齢者施設・障がい者施設・保育園・こども園
依頼施設数：228件
回答数：93件（回答率：40.7%）
- ・法人・企業の地域貢献活動に関するアンケート調査
実施期間：令和5年5月18日～6月19日
依頼企業数：105件
回答数：54件（回答率：51.4%）

10 福祉のしごと・魅力発信事業

福祉教育活動推進事業において福祉施設等の職員を小中学校等に派遣し、福祉の仕事や共生社会に関する講義を行った。（詳細はP31）

また、「介護の日フェア in 相模原」（主催：（一社）相模原市高齢者福祉施設協議会・相模原市介護老人保健施設協議会）を後援し、介護職を目指す若い世代や、市民に広く介護の仕事のすばらしさ、やりがいを周知する目的で行う「『介護に笑顔はよく似合う』写真展」の告知のため、市社協ホームページにスライドショーを掲載した。

1 1 広報紙社協さがみはら「みんないいひと」の発行

(自主) 8,295,422 円

1) 全市版の発行

年3回(4月20日(木)、8月1日(火)、12月1日(金)) 各170,000部発行)

タブロイド版 新聞折込

社協さがみはら「みんないいひと」全市版の発行

号数等		内容
245号	令和5年4月号	こんにちは！コミュニティソーシャルワーカーです！ ・市内22地区に配置するコミュニティソーシャルワーカーの活動を役割や活動を紹介
246号	令和5年8月号	わたし“らしく”地域のおてつだい ・特技や趣味を生かしたボランティア活動を行っている2人にインタビューを行い、活動をはじめたきっかけや想いを紹介
247号	令和5年12月号	共にここから“たすけあい” ・特定非営利活動法人けやきの会が運営する、地域活動支援センター(第3けやき)利用者による、地域貢献活動や、地域との交流について紹介

2) 区版の発行

年3回(6月22日(木)、9月28日(木)、2月8日(木)) 各号約130,000部発行)

※区版は、(株)タウンニュース社発行の「タウンニュース」(緑区・中央区・南区版)の各1ページに掲載

社協さがみはら「みんないいひと」区版の発行

号数等		内容
第40号	令和5年6月号 発行部数 ・緑区 : 29,050部 ・中央区 : 45,700部 ・南区 : 52,700部	《緑区・中央区・南区だより》 みんなで福祉のまちづくり ～地域の支えあい活動は賛助会員によって支えられています～ ・地区社会福祉協議会の取組紹介
第41号	令和5年9月号 発行部数 ・緑区 : 28,400部 ・中央区 : 43,250部 ・南区 : 50,600部	《緑区・中央区・南区だより》 地域づくりを応援！ 赤い羽根共同募金運動はじまります ・子どもや若者を支援する、地域の活動者を紹介

第 42 号	令和 6 年 2 月 号 発行部数 ・緑区 : 28,400 部 ・中央区 : 43,250 部 ・南区 : 50,600 部	《緑区・中央区・南区だより》 あなたの地域を応援！企業が取り組む貢献活動 ・企業の強みを生かした地域貢献活動を紹介
--------	---	---

1 2 相模原市社会福祉大会「市民みんないいひとの日」の開催

(共募・自主) 1,058,629 円

第 54 回相模原市社会福祉大会を開催し、令和 5 年度顕彰者の表彰式を行った。
(顕彰者：特別表彰、一般表彰、感謝表彰を受賞する 189 の個人・団体等)

- 開催日：令和 5 年 10 月 28 日（土）
- 会 場：あじさい会館ホール
- 内 容：第一部 お楽しみコンサート（演奏 楓響ウインドオーケストラ）
第二部 表彰と感謝のつどい（令和 5 年度顕彰者表彰式）
漫画家・秋竜山先生原画展

1 3 賛助会員募集事業

(自主) 2,053,205 円

市内 22 地区社会福祉協議会を通じて地区自治会連合会、地区民生委員児童委員協議会の協力により募集を行った。

一般賛助会員募集実績

募集実績	うち地区配分額
22,731,317 円	11,365,659 円

法人賛助会員募集実績

会員数	金 額
94 法人	1,490,000 円

募集推進会議の開催

開催月日	内 容
令和 5 年 4 月 12 日（水）	<ul style="list-style-type: none"> ・令和 4 年度 一般賛助会員会費募集結果報告及び使途概要説明 ・令和 5 年度 市社協賛助会員募集実施計画（案）説明 ・募集用チラシ ・領収書等の自治会送付説明

14 録音・点字版社協さがみはらの発行

(自主) 719,321 円

広報紙「みんないいひと」全市版(年3回)・区版(年3回)の録音版(CD・テープ)、点字版を発行した。

- 録音版の発行 利用者数:63人 行政機関等:8か所
- 点字版の発行 利用者数:17人 行政機関等:10か所

15 マスコットキャラクターを活用したPR

マスコットキャラクター「にこまる」を活用し、わかりやすく情報を発信するとともに、子どもや若い世代に本会に関心を持ってもらうことを目的にPR活動を行った。

- ブログ「にこまるの部屋」による情報発信
更新回数:65回
- にこまる LINE スタンプの販売 (令和4年1月販売開始)
- にこまるラッピングの自動販売機の設置
- にこまるグッズの作成 (シール、折り紙)



16 寄付促進推進事業

企業・法人、市民からの寄付促進に向け、寄付金を活用した取組や成果の周知、企業・法人との連携による寄付付き商品の販売を行った。

1) 企業との連携の促進

- 企業・法人に対して、社会福祉協議会の役割や事業を周知し、企業・法人の持ち味等を生かして取り組むメニューとして「人(ボランティア活動者)、物(物品寄付)、財源(地域福祉活動の財源寄付)」等の呼びかけを行った。

2) 寄付付き商品の販売

- 日本ハムマーケティング(株)横浜営業所と連携し、お中元・お歳暮商品の売上の一部を社会に還元する活動として、本会への寄付を目的とした寄付付き商品を販売した。

3) 寄付付き制服リサイクル

- 学生服リユース Shop さくらや相模原店と連携し、あじさい会館ロビー及び南区地域福祉交流ラウンジに制服回収ボックスを設置。寄付された制服の想定買取価格の一部を社会に還元する活動として「子ども健やか育成基金」に寄付した。

② 地域福祉推進事業【社会福祉事業】

1 地区社協情報コーナーの設置

あじさい会館 1 階と南保健福祉センター1 階、緑区合同庁舎 1 階に専用の掲示板を設置し、22 地区社会福祉協議会の活動紹介を行った。

2 福祉情報ネットワーク推進事業

22 地区社会福祉協議会、22 地区民生委員児童委員協議会の事務局において、小地域の支えあい活動を支援するための情報収集・提供を行った。

また、地区事務局の運営強化を図るため、インターネットやタブレット端末の環境整備を進めた。

3 地域の支えあい応援事業（地域福祉推進員の設置）

（補助）91,748,141 円

22 地区に地域福祉推進員を配置し、地区社会福祉協議会及び地区民生委員児童委員協議会の事務支援を行うとともに、相談支援活動や福祉関係諸団体との連携等ネットワークの構築を図った。

4 地域の支えあい応援事業（地域福祉支援員の設置）

（補助・自主）22,155,351 円

19 地区に地域福祉支援員を配置し、地区社会福祉協議会及び地区民生委員児童委員協議会の事務支援を通じて活動の促進を図った。

5 地域の支えあい応援事業（賛助会員会費の配分）

（自主）11,365,660 円

地区社会福祉協議会の活動の充実・促進を図るため、地区で募集された一般賛助会費募集実績の 50%を 22 地区社会福祉協議会に配分した。

6 地域の支えあい応援事業（サロン活動支援事業）

身近な地域での高齢者や障がいのある方、子育て期の保護者等の仲間づくりの活動を支援した。

サロン把握数

種 別	サロン数
高齢者サロン	255 団体
子育てサロン	36 団体
障がい者サロン	8 団体
合 計	299 団体

1) サロン活動の促進

- サロンへのレクリエーション用具の貸出し
- ふれあい・いきいきサロンの状況を調査し、課題抽出及び関係者・一般市民への情報提供

2) 新規サロン立ち上げ支援

- 新規サロンの立ち上げの過程で、地区担当職員を中心に相談支援等を行った。

7 福祉コミュニティ形成事業

（補助）10,150,262 円

22 地区で地区社会福祉協議会を中心に取られる小地域の支えあい活動について、事業検討の場「地域福祉推進会議」の運営支援及び事業経費の助成により促進した。

	地区名	内 容	助成金額
1	橋 本	<ul style="list-style-type: none"> ○ 活動拠点の運営、交流の場づくり <ul style="list-style-type: none"> ・ ふれあいの家「ぬくもり」の管理、運営 ・ 定例活動として「麻雀の日」「ぬくもり喫茶」、「映画の日」、「手芸折り紙の日」「いきいき百歳体操」「子育てサロン」の各取組を実施 	540,000
2	大 沢	<ul style="list-style-type: none"> ○ 交流の場づくり <ul style="list-style-type: none"> ・ 大沢 comcom.com 会議 ・ 大沢さくらまつりの出店「出張こむこむ茶屋」 ・ こむこむ茶屋（上大島自治会館・古清水自治会お館）の開催 ・ 健康マージャン（上大島自治会館・古清水自治会館）の開催 ・ 交流イベント ドットと混む企画 自治会と共催の映画会①ふたりの旅路 ②あん ・ 福祉バザーでこどもコーナー企画運営 ・ 小中学校の福祉教育に協力 	310,000

	地区名	内 容	助成金額
3	城 山	<ul style="list-style-type: none"> ○ 交流の場づくり <ul style="list-style-type: none"> ・ 地区内3ヶ所の拠点（「若葉ほっこりーな」、「原宿なごまーる」、「久保沢ふれあいカフェ」）での交流事業の実施 ・ 農作業を通じた地域の交流の場「しろやまふれあい農園」の活動の実施 ・ 交流の場 地域食堂「愛・城（あいじょう）ものがたり」を開催。「しろやまふれあい農園」で収穫した野菜などを使用。 ◆ 個別ニーズ対応 <ul style="list-style-type: none"> ・ 「城山助けあい支えあいセンター」（愛称 あい♡あいセンター）の実施（相談窓口（週1回）、サポーター活動、コーディネーター会議（月1回）、担い手養成など） 	330,000
4	津久井	<ul style="list-style-type: none"> ○ 見守り活動 <ul style="list-style-type: none"> ・ 小網支部「小網ふれあいネットワーク」の運営 ・ 中央支部「みまもり活動 あんしん袋」事業の運営 ・ 三井名手支部「ふれあい訪問活動 ふれあい袋（あんしん袋）事業の運営 ○ 交流の場づくり <ul style="list-style-type: none"> ・ サロン活動の推進事業 ・ ふれあい・いきいきサロン、子育てサロン交流会を実施 	360,000
5	相模湖	<ul style="list-style-type: none"> ○ 交流の場づくり <ul style="list-style-type: none"> ・ いきいき百歳体操サロン支援 ・ 健康マージャンサロン支援 ・ 「サロン会場」個人宅提供者への経費助成 ○ 見守り活動 <ul style="list-style-type: none"> ・ 商店等による見守りの仕組み「みまもりネットさがみこ」の実施 ・ とっさの時のあんしんケース（救急医療情報キット）の配布、情報更新 ・ 赤ちゃんが生まれた世帯へのプレゼント配布、訪問事業「こんにちは赤ちゃん!さがみこ“ぬくもり”支援事業」の実施 ◆ 個別ニーズ対応 <ul style="list-style-type: none"> ・ 住民相互の助けあいの仕組み「ちょこっとボランティア相模湖」の実施（活動件数延152件） ○ その他 <ul style="list-style-type: none"> ・ 子育て情報掲載「子育てマップ」の改訂、配布 	540,000
6	藤 野	<ul style="list-style-type: none"> ○ 藤野福祉コミュニティ推進会議の開催 <ul style="list-style-type: none"> ・ 地域の課題について検討や情報交換を行う会議。年4回開催。 ・ 次年度新規事業の準備・打ち合わせ ○ 「コミュニティサロン（たまり場）」の活動支援 <ul style="list-style-type: none"> ・ 助成金等による活動支援 10団体 ・ サロン交流会の開催12団体20人参加 ◆ 個別ニーズ対応 「おたがいさまネットふじの」の運営 <ul style="list-style-type: none"> ・ 住民相互の助けあいの仕組み「おたがいさまネットふじの」の運営 ・ 困りごと相談窓口 毎週火曜日午後 相談件数65件 ・ 草刈や枝切り、ゴミ捨て、買い物代行、見守り（高齢者）、換気扇の清掃などに対応。サポーター53人 3団体登録 活動件数220件 活動人数308人 ・ コーディネーター（9人）会議 毎月1回開催 ・ PR活動（自治会、民児協協力のもとチラシ・名入れタオルを作成・配布） ・ サポーター交流会 1回開催 19人参加 ・ 津久井地区社協 視察研修対応 ・ 高齢者等のゴミ出しについて行政との検討 ○ スマホサロンの開催（月1回開催 実数17人 延べ73人） 	250,000

	地区名	内 容	助成金額
7	小 山	<ul style="list-style-type: none"> ○地域福祉推進会議の開催（6回） ◆ 相談窓口・個別ニーズ対応 <ul style="list-style-type: none"> ・ 「おやま生活サポートセンター」の運営（窓口開所週1回、活動件数33件） ・ 運営会議の開催（月1回） ・ 敬老事業にて宣伝用のマグネットシートを配布 ・ 視察研修（愛川町社協「あいちゃんサービスセンター」） ○交流の場づくり <ul style="list-style-type: none"> ・ 駄菓子屋の開催（参加児童数 約200人） 	403,615
8	清 新	<ul style="list-style-type: none"> ◆ 個別ニーズ対応 <ul style="list-style-type: none"> ・ 「ちょこっとボランティアくらぶ」運営（相談件数：66件 活動件数：49件） ・ ちょこボラミーティングの開催 ○ 登録者向け「ちょこボラ便り」発行 	230,000
9	横 山	<ul style="list-style-type: none"> ○ 交流の場づくりと地域活動拠点 <ul style="list-style-type: none"> ・ コミュニティよこやま「憩」拠点活動実施（年間148回、参加人数延べ987人） ・ コミュニティしもくざわ「憩」拠点活動実施（年間11回、参加人数延べ78人） ・ 輪投げ大会を実施 ・ 清新中学校生徒による花壇の花植えを実施。また、その様子のInstagramの記事を清新中学校生徒が作成 ○ コミュニティよこやま「憩」大掃除実施 	540,000
10	中 央	<ul style="list-style-type: none"> ○ 交流の場づくり <ul style="list-style-type: none"> ・ 地区内5拠点（「ふれあいふじみ」、「ふれあいむらとみ」、「ふれあい相生」、「ふれあい相模原中央」、「ふれあいMYT（松が丘・弥栄・高根）」）での三世代交流事業の開催（年間20回） ○ 地区内事業「ふるさとまつり」「中央地区っていいなあフェア」での三世代交流コーナー設置 	350,000
11	星が丘	<ul style="list-style-type: none"> ○ 地域交流の場 <ul style="list-style-type: none"> ・ あらゆる世代の交流の場として、「いこいの広場」（横山・千代田・星が丘）を開催（月1回） ・ 教員OB・民生委員・自治会による学習支援の場「はやぶさ学習塾」の開催（月2回） ・ 子どもの居場所「ホッとRoomアロハ」の開催 ◆ 個別ニーズ対応 <ul style="list-style-type: none"> ・ 日常のちょっとした困りごとを住民同士で支え合う「ちょっと手伝い隊」（有償ボランティア）の実施（延べ件数 89件） 	540,000
12	光が丘	<ul style="list-style-type: none"> ○ 交流の場づくり <ul style="list-style-type: none"> ・ 光が丘地区にぎわい処（コロナ禍のためお弁当持ち帰り方式で週2回実施） ・ 上溝団地健康団地ホッコリ屋の運営。シルバーカフェ実施（週1回） ◆ 個別ニーズ対応 <ul style="list-style-type: none"> ・ 光が丘サポート隊の実施（対応件数延べ1,223件） ○ 相談窓口 <ul style="list-style-type: none"> ・ サポートセンターの運営（週3回）（相談受付、ボランティア派遣、担い手養成） 	540,000
13	大野北	<ul style="list-style-type: none"> ○ 交流の場づくり・相談窓口 <ul style="list-style-type: none"> ・ 「はやぶさカフェ大野北」について（2か所、月1回） ・ 「親子スペースたけのこの家」（月2回） ・ 「親子スペースつくしの家」（月1回） 	400,000

	地区名	内 容	助成金額
14	田 名	<ul style="list-style-type: none"> ○ 交流の場づくり <ul style="list-style-type: none"> ・ 住民交流の場「和い輪い田名」の運営（週4回） ・ 地域包括支援センターによる出張相談（月1回） ・ 子どもたちの日、スマホ教室、駄菓子屋（月1回）、おでかけ和い輪い田名の実施 ・ スタッフ研修会の実施 ◆ 個別ニーズ対応 <ul style="list-style-type: none"> ・ 「田名ボランティアセンター」の運営（週2回） ・ ボランティア入門講座の実施（2回） ・ サポーター研修会の実施（1回） ・ 「ボラセン通信」の発行（2回） 	540,000
15	上 溝	<ul style="list-style-type: none"> ○ 活動拠点・交流の場づくり <ul style="list-style-type: none"> ・ 「ぶらっと上溝」運営（参加人数延べ4,044人） ・ かふえみぞ、健康マージャン、折り紙教室、絵手紙教室、だがし屋さん等の交流事業を実施 ◆ 個別ニーズ対応 <ul style="list-style-type: none"> ・ 上溝ボランティアセンターを毎週月曜日開所 	540,000
16	大野中	<ul style="list-style-type: none"> ○ おおのなかボランティアセンターの運営 ◆ 個別支援への対応 <ul style="list-style-type: none"> ・ 支援活動合計179件（ゴミ出し、買い物代行、通院付き添い、草刈り等） ○ ふらっと立ち寄りサロンの運営 <ul style="list-style-type: none"> ・ 地区社協主催サロン活動の運営を年6回担当。 ○ 初心者のための健康麻雀教室の開催（年23回） ○ 市社協南ボラセンとの共催によるボランティアセミナーの開催 ○ 学校福祉教育への協力 	540,000
17	大野南	<ul style="list-style-type: none"> ○ 交流の場づくり <ul style="list-style-type: none"> ・ 高齢者サロンの普及推進、運営支援 ・ サロン推進委員会開催 ・ サロン人材バンクの検討 ・ サロン運営者懇談会開催 ・ サロン通信発行 ○ 地区内のふれあい・いきいきサロン（地域サロン）運営助成 	540,000
18	麻 溝	<ul style="list-style-type: none"> ◆ 個別ニーズ対応 <ul style="list-style-type: none"> ・ 「ボランティアセンターあさみぞ」運営 ・ ボランティアスタッフ会議1回 ○ ボランティア交流会1回 田名ボランティアセンター視察 	540,000
19	新 磯	<ul style="list-style-type: none"> ○ 見守り活動 <ul style="list-style-type: none"> ・ 「新磯見守りステーション」の検討 ・ 1対1の見守り体制ではなく、地域の実情に合った「見守り」について検討 ◆ 個別ニーズ対応 <ul style="list-style-type: none"> ・ 「ちょっとサポートしたい」の実施 ・ 高齢者や子育て世帯の日常生活でのちょっとした困りごとをすみやかにサポート ○ その他 <ul style="list-style-type: none"> ・ 災害時要援護者に対する支援体制の整備について、地域住民が協力して活動できるような仕組みづくりについて検討 	485,427

	地区名	内 容	助成金額
20	相模台	<ul style="list-style-type: none"> ◆ 活動拠点・交流の場づくり・個別ニーズ対応 <ul style="list-style-type: none"> ・ 「サポートセンター楽らく」運営 ・ 困りごと相談の受付とその解決策としての情報提供やサポーターの派遣の実施 ・ 映画上映会の開催 ・ 毎月センター会議の開催 ・ 月1回歌声サロンの実施 ○ 子育て世帯への支援 <ul style="list-style-type: none"> ・ 楽らくキッチンの運営 ・ 楽らくキッズの運営 	540,000
21	相武台	<ul style="list-style-type: none"> ○ 活動拠点・交流の場づくり <ul style="list-style-type: none"> ・ 「ひだまり相武台」運営 ・ 住民が気軽に集い・交流の場「ひだまりカフェ」開催 ・ 地域活動団体部屋の貸出 ○ 見守り活動 <ul style="list-style-type: none"> ・ 「支えあい（愛）相武台」実施 ○ 相武台グリーンパーク・新磯野北班、相武台団地・新磯野南班、相武台前町内会・サンハイム・サンヴェルジュの3班による一人暮らし高齢者への定期訪問、運営委員会開催、各班による毎月班会議を実施 	540,000
22	東 林	<ul style="list-style-type: none"> ○ 交流の場づくり <ul style="list-style-type: none"> ・ 「東林いこいの広場」を地区内2か所で開催 <ol style="list-style-type: none"> ① 東林いこいの広場 会場：東林公民館 9回開催 ② 東林憩いの広場（木曜喫茶） 会場：くぬぎ台地域活動施設 50回開催 ○ 学びの場づくり <ul style="list-style-type: none"> ・ 「東林いきいき塾」の開催 <ol style="list-style-type: none"> ① ヤング防災ボランティア体験教室 参加者：中学生17人 高校生1人 ② 「初めてのスマホ講座」（2回開催） 参加者：38人 ③ 東林地区の福祉施設を見に行こう（2回開催）参加者15人 	540,000
		合 計	10,139,042

8 交通遺児援護事業

(自主) 1,345,324 円

生活支援を目的に、交通遺児世帯へ見舞金・激励金の支給を行った。

本会 交通遺児指定寄付金の配分

支給金種類	対 象	金 額
指定寄付金等	7 人	700,000 円

9 南区地域福祉交流라운ジの運営

(補助・自主) 12,916,729 円

南区内で地域福祉活動等に取り組む市民を対象にした相互交流及び福祉情報の提供等を目的とした施設の管理運営を行った。

令和5年度は、協力事業である各サロンの実施のほか、活動室の利用予約がない時間帯は、学生に向けた自習室や、どなたでも利用できるスペースとして開放するなど、広く区民に活用していただけるよう取り組んだ。

3月に行われた「ラウンジふくしまつり」では、利用団体等で構成される「ラウンジふくしまつり実行委員会」を設け、イベントを通じて利用団体間の連携を図った。

広報事業として、地域の商業店舗や企業、薬局などに設置した「福祉の掲示板」や地域情報誌、市社協の SNS を通じて、地域の福祉情報を広く市民に向けて発信した。

1) 運営の概要

- 開設日数：308 日（日曜・年末年始を除く）
- 開設時間：午前 9 時～午後 9 時 30 分
- 窓口来場者数：5,526 人・活動室利用者数：6,037 人・登録団体：51 団体
- スタッフ：相談員 1 人、補助員 7 人

2) 会議の開催

- 運営協議会：年 1 回
- 運営委員会：年 2 回
- 利用者懇談会：年 1 回
- 役員会：随時（年 3 回）

3) 通年事業の実施

- みんなのサロン：月 2 回
- みんなのサロン コーヒー屋さん：月 2 回
- みんなの子育てサロン「ぽっかぽか」：月 4 回
- にほんご教室：週 1 回

- 福祉なんでも相談：週1回
- 県立相模原支援学校との協働（清掃活動：令和5年度は、2回）
- 季刊「ふくしラウンジ」の発行：年4回
- ラウンジふくしまつり実行委員会：年3回

4) 福祉の掲示板の設置

- 大野中 (6)、大野南 (9)、相模台 (6)、相武台 (3)、東林 (7)

5) 壁面展示及び企画展の実施

南区で福祉サービスを利用する方やボランティアを行う方・団体等を中心に絵画や写真等の作品を公募し、社会参加のきっかけづくりを行うとともに、福祉イベントにちなんだ催しや登録団体による企画展を開催した。

壁面展示及び企画展実施状況

開催月日	内容
令和5年 3月28日(火)～5月27日(土)	個人展示 (7作品)
5月31日(水)～6月12日(月)	相模原市障害者地域作業所等連絡協議会作品展
6月17日(土)～6月29日(木)	大野おひさま保育園作品展
7月4日(火)～9月9日(土)	個人展示 (10作品)
9月16日(土)～9月25日(月)	相模原市高齢者福祉施設協議会 「介護に笑顔はよく似合う」写真展
10月1日(日)～10月14日(土)	赤い羽根ポスター展
10月17日(火)～10月27日(金)	このは保育園作品展
11月1日(水)～12月27日(水)	個人展示 (10作品)
令和6年 1月6日(土)～1月13日(土)	福祉ポスター・標語展および人権・福祉教育活動展
1月16日(火)～1月30日(火)	さがみハート展
2月2日(金)～2月27日(火)	個人展示 (10作品)
3月3日(日)～3月28日(木)	ラウンジふくしまつりでの団体紹介展示を延長

6) ラウンジふくしまつり

開催月日：令和6年3月3日（日）
<p>○開会式（ボランティア団体によるパフォーマンス含む）</p> <p>○福祉体験スタンプラリー （バリアフリーアプリ体験/視覚障がい者誘導体験/車いす体験/高齢者疑似体験）</p> <p>○ボッチャ体験</p> <p>○ラウンジマルシェ（福祉事業所による自主製品販売会）</p> <p>○ワークショップ（革のキーリングの作成）</p> <p>○タッチケア体験（ハンドマッサージ）</p> <p>○脳トレ（数合わせ、まちがい探し）</p> <p>○登録団体によるパネル展示</p> <p>○登録団体紹介動画及び南区内7地区社協紹介動画の放映 〈協力団体〉 にはんごの会/カフェ★ダイ2ドヨウ/ロコプルメリア/相模原誘導グループささの会/精神保健ボランティアグループひびき/障碍社/友知草の会/大野南地域包括支援センター/NPO法人ここずっと/県央福祉会/虹の家/すずらんの家/あーとはうす/リッチフィールド/レモンタイム工房/相模原ボランティア協会/神奈川県立相模原支援学校/神奈川県社会福祉士会相模原支部/相模原失語症友の会/であいの和/相模大野ツインズクラブ/大野南地区社会福祉協議会/和・みなみボランティアの会/ひよこ第3保育園</p>

10 民生委員・児童委員研修事業

（受託）1,200,000円

民生委員・児童委員（定数：933人（民生委員・児童委員879人 主任児童委員54人））を対象とした研修事業を実施した。

民生委員・児童委員研修実施状況

研修名	研修内容・コロナ対応	開催月日	受講者数
主任児童委員研修会Ⅰ	・子どもたちの教育を取り巻く現状・課題と学校との連携のあり方について	令和5年6月1日（木）	41人
全体研修会	・「こどもまんなか社会」のために私たちができるまちづくり	令和5年10月16日（月） 令和5年10月17日（火） 令和5年10月20日（金） 令和5年11月1日（水）～ 12月22日（金）動画配信	749人
主任児童委員研修会Ⅱ	・児童虐待の発見と対応について	令和5年10月26日（木）	42人

研修名	研修内容・コロナ対応	開催月日	受講者数
中堅委員等研修会	・孤立から社会へ～学び合い育ち合う場の必要性～	令和5年11月30日(木)	98人
会長・副会長研修会	・民児協の組織運営とICTの活用について	令和5年12月5日(火)	62人
主任児童委員研修会Ⅲ	・「あなたはあなたで大丈夫。」～その子らしさを大切にする子育て～	令和6年1月25日(木)	38人
新任民生委員・児童委員研修会	・民生委員・児童委員活動について	令和6年2月19日(月)	33人
主任児童委員研修会Ⅳ	・主任児童委員活動の基本について	令和6年3月15日(金)	33人

1.1 福祉教育活動推進事業

(補助・自主) 503,560円

1) 高等学校への福祉活動支援

高等学校が取り組む福祉活動の普及・啓発を目的に、地域住民や福祉施設、ボランティア等と連携・協力を行いながら、事業の企画の段階から実施までを支援し、高校生の福祉活動に対する意識の向上と参加の促進を図った。

補助金交付対象校への支援

補助金交付状況

学校名	内容	交付額	執行額
県立津久井支援学校	<ul style="list-style-type: none"> ・つなぐれ・つながりフェスティバルの開催を通じた交流 ・市内高校との交流 ・学習支援ボランティアとの協働、生徒による清掃活動の実施 	105,000円	73,087円
県立相模原城山高等学校	<ul style="list-style-type: none"> ・「ひまわりクラブ」生徒による人形劇の公演を通じた県立津久井支援学校、地域の親子との交流 	80,000円	60,000円
県立相模原支援学校	<ul style="list-style-type: none"> ・近隣の高校生・大学生とのスポーツを通じた交流 ・自治会や地域団体との協力による生徒のボランティア活動への参加 	140,000円	101,504円
県立相模原中央支援学校	<ul style="list-style-type: none"> ・地域環境整備事業(学校外の花壇を活用した地域美化活動及び地域住民との交流) ・学習ボランティアへ感謝を伝える事業 	60,000円	60,000円
県立相模原弥栄高等学校	<ul style="list-style-type: none"> ・ふれあいコンサート(県立相模原中央支援学校との交流) 	35,000円	34,980円
合 計		420,000円	329,571円

2) みんないいひと体験講座の開催

令和5年度より、各区ボランティアセンターが窓口となり、主に小・中学生等を対象に、福祉体験講座の開催について講師派遣調整、物品貸出しを実施し、福祉に対する理解を深めた。

ア 講師の派遣調整等

実施件数：76件（小学校36校、中学校26校、
高等学校5校、大学2校、企業2社、福祉機関5件）

参加者：5,673人



イ 物品貸出

車椅子：8件、高齢者擬似体験セット：19件

ウ 福祉教育実践担当教諭の支援

令和5年5月23日（火）開催「小・中学校における人権・福祉教育の担当者会（学校教育課主催）」において、みんないいひと体験講座の概要や申請方法の説明を行った。

エ プラットフォームの設置（情報交換会の開催）

本事業の協力講師を対象に情報交換会を行った。学びの目標を共有し、各講師の取組みや講座の工夫を知り、課題について検討した。

日時	講師	参加
令和5年10月18日（水） あじさい会館6階 ボランティア活動室	相模原市聴覚障害者協会 相模原市手話通訳者の会	4名
令和6年2月28日（水） あじさい会館6階 ボランティア活動室	相模原市聴覚障害者協会 相模原市手話通訳者の会 土の会 要約筆記サークル もみじ	11名
令和6年3月28日（木） あじさい会館6階 ボランティア活動室	相模原誘導グループささの会	8名

オ その他

本年度より、3区に福祉教育担当者を配置し、依頼者のニーズに細かく応えながら、地域の福祉施設や地区社協とともに新たなプログラムを展開した。津久井やまゆり園と開発したプログラム「共生社会の理解～ともに生きる社会とは」については、取組みの経過を含め「福祉新聞」8月8日号・「福祉タイムズ」（神奈川県社協発行）10月号に掲載された。

3) 障がい児通学等送迎活動経費交付事業

ボランティアが取り組む障がい児の通学等送迎活動に対して、活動経費の一部を交付した。

- 活動回数：199回、交付総額：59,700円

1.2 ふれあいデイホーム事業

(補助・自主) 6,058,083円

在宅の障がい児者を介護している家族等介護者が、休養や外出等で介護ができない場合に、相模原市南保健福祉センター内に設置された「福祉支援室」において、障がい児者を昼間一時的に介護し、その世帯の援助を図った。

- 令和5年度末利用登録者数：154人
- 運営委員会の開催：令和6年3月25日(月) ※本会評議員会にて予算承認

開設日数・利用者数等

区 分		人数等
年間開設日数		289日
年 間 延べ利用者数	18歳未満	113人
	18歳以上	306人
	合 計	419人
1日当たり利用者数		約1.4人

預り事由別内訳

区 分	人数	区 分	人数	
保護者の疾病・入通院	46人	本人の学校関係	3人	
介護・看護	3人	兄妹の学校関係	14人	
冠婚葬祭	1人	その他	241人	
公的機関・自治会等	1人	私的理由	104人	
出産	1人	体験	8人	
			合 計	419人

利用時間別内訳

区 分	人 数
半 日	207人
全 日	212人
合 計	419人

医療的ケア等申請実施状況

申請内容	申請者数	実施回数
経管栄養	1人	1回
吸引	1人	1回
てんかん発作時投薬	1人	1回
在宅酸素	1人	1回

1.3 インターネット等活用福祉情報提供事業

(共募・自主) 2,494,253円

電子メール等により市民をはじめ本会一般会員等から福祉講座や研修会、イベント等に関する情報を収集し、本会ホームページにより情報提供を行った。

また、令和4年度より、各部署に情報担当者を配置し、更なる情報発信の促進に向けて検討を進めた。

1 4 地域の支えあい応援事業(地区社協育成費補助金)

(共募・自主) 20,716,984 円

地区社会福祉協議会活動の充実・促進を図るため、運営費及び活動費の助成等を行った。

地区社協育成費補助金財源内訳

助事業名		財源等
地区社協活動推進事業	基礎事務事業費	共同募金配分金 年末助けあい配分金
	共同募金活用費	
	人口等傾斜配分金	
	ボランティアグループ育成費	
特別育成費補助金		地域貢献型等自販機売上 手数料収入
小地域福祉活動助成金等		地域支えあい応援基金

1 5 災害見舞金の支給

(共募・自主) 540,000 円

火災等罹災世帯への見舞金の支給を行った。

見舞金内容等	件数	支給金額
全焼 (1件 20,000円)	16件	320,000円
半焼・半壊 (1件 10,000円)	6件	60,000円
床上浸水 (1件 10,000円)	2件	20,000円
重症 (1件 10,000円)	6件	60,000円
死亡 (1件 20,000円)	4件	80,000円
合計	34件	540,000円

1 6 就職支度費等一時給付事業(生活困窮者世帯就職活動応援事業)

(共募) 130,890 円

離職その他の事情により一時的に生活困窮に陥り、就職等による自立を志向する世帯を支援するため、就職活動及び就職後に直接必要な物品の給付を行った。

- 給付対象：2世帯

就職支度費等一時給付事業給付状況

	給付内容	給付額
1	就職活動中・活動後必要物品購入費用 (眼鏡、自転車等)	130,890 円
	合計	130,890 円

17 食料品等緊急一時給付事業

(共募) 48,988 円

離職その他の事情により一時的に生活困窮に陥り、生活福祉資金等の貸付決定や給与・公的給付等収入日まで（おおむね1週間以内）の間、生活を維持するための食料品の確保が困難な世帯を対象に食料等の給付を行った。

- 給付対象：11世帯（13人分・延べ60日間分）

18 生活困窮者支援団体応援事業

(共募) 1,211,768 円

市内の生活困窮者の社会参加や自立生活の促進を目的とした活動を行う団体に対して、助成事業を通じて支援を行った。

- 助成団体：7団体（うち、新規申請団体1団体）
- 助成金額：1,208,358円
- 主な助成対象事業：就労準備支援や社会参加の場づくり、フードバンク等

19 子ども健やか育成事業

(共募・自主) 6,215,591 円

市内の福祉的課題を抱える子どもたちの居場所づくり等の活動を行う団体に対して、助成事業を通じて支援を行った。

- 助成団体：32団体（うち、新規申請団体4団体）
- 助成金額：6,122,958円
- 主な助成対象事業：子ども食堂、無料学習支援、学校の長期休暇中の居場所づくり

20 子どもの居場所創設サポート事業

(受託) 5,505,000 円

子ども食堂や無料学習支援等、地域で展開する子どもの居場所づくりを推進するため、必要な情報の提供、活動の周知や運営に関する相談など地域住民が活動しやすい環境づくりを進めるために、以下の事業を実施した。

1) 子どもの居場所づくりセミナー

地域で展開する子ども食堂や無料学習支援等、ボランティアや住民が運営する子どもの居場所づくりについて、開設・運営を進めるために必要な情報の提供や立ち上げなどを応援するために実施した。

① 「学生×子どもの居場所づくりセミナー」

開催月日・会場	内 容	受講者数
令和5年6月16日(金) ※Zoomによるオンライン開催	<ul style="list-style-type: none"> ・基礎説明：子どもの居場所についての基礎知識 ・登壇団体（10団体）による活動紹介 ・グループワーク（登壇団体＋参加者） 話を聞いてやってみたいことや思いを共有 グループ内交流 	17人

② 「子どもの居場所づくりセミナー」

開催月日・会場	内 容	受講者数
令和5年7月8日(土) あじさい会館6階展示室	<ul style="list-style-type: none"> ・基礎説明：子どもの居場所についての基礎知識 ・事例報告：相模原みのり塾 小布施美穂子氏 かみつるまひまわり食堂 市川敬子氏 ・グループワーク（講師への質疑応答、情報交換） 	20人

2) 子どもの居場所づくり普及啓発事業

「子どもの居場所」への認知向上及び理解促進、また、地域が主体となった「子どもの居場所」創設に向けた意識醸成を図ることを目的に実施した。

① 「小田急相模大野駅 子どもの居場所普及啓発パネル展」

開催月日・会場	内 容
令和5年11月18日(土) 小田急相模大野駅改札構内 コンコース	<ul style="list-style-type: none"> ・市内子どもの居場所活動紹介・寄付事例紹介パネル展示 ・子どもの居場所情報サイトチラシ・市内子どもの居場所一覧の配布 ・相模大野駅子育て応援イベントとして、「ファミリー・サポート・センター事業紹介」子育て世代へのアンケート調査（企画財政係）と同時に開催 ・親子で楽しめるスペースの開設（ぬり絵缶バッジ作成、バルーン、間違い探し、折り紙） ・おだきゅう「もころん」市社協「にこまる」との写真撮影会

② 「ウエルネスさがみはら 子どもの居場所普及啓発パネル展」

開催月日・会場	内 容
令和6年1月16日(火)～ 1月31日(水) ウエルネスさがみはら 1階ロビー	<ul style="list-style-type: none"> ・市内子どもの居場所活動紹介パネル展示 ・子どもの居場所情報サイトチラシ・市内子どもの居場所一覧の配架 ・保育所の利用相談や、ひとり親家庭等の子育てに関する相談などに来所の方に、市内子どもの居場所の情報提供をした

③「サン・エールさがみはら子どもの居場所普及啓発パネル展」

開催月日・会場	内 容
令和6年2月8日(木)～ 2月27日(火) サンエールさがみはら1階 ピロティ	<ul style="list-style-type: none"> ・市内子どもの居場所活動紹介・寄付事例紹介パネル展示 ・子どもの居場所情報サイトチラシ・市内子どもの居場所一覧の配架 ・市内企業の事業主や勤労者を対象に、市内子どもの居場所の情報提供と寄付支援の意識醸成を図った

3) 子どもの居場所づくり企業向け寄付啓発事業

企業や団体等の方に、市内の「子どもの居場所」への認知向上、及び子どもの居場所への寄贈企業の拡大に向けた理解促進を目的に実施した。



「SDGs EXPO 子どもの居場所づくり企業向け寄付啓発パネル展」

開催月日・会場	内 容
令和6年2月2日(金) 杜のホールはしもと7階	<ul style="list-style-type: none"> ・市内子どもの居場所への寄付事例紹介パネル展示 ・子どもの居場所情報サイトチラシ・市内子どもの居場所一覧の配布 ・市社協パンフレット配布 ・子どもの居場所相談窓口の開設 ・SDGs EXPO 開催による市社協ブースに企画財政係と共同展示

4) 情報交換会

子どもの居場所づくりの運営を進める団体間の連携を推進するために実施した。



① 子どもの居場所運営団体情報交換会 (中央区)

開催月日・会場	内 容	参加者数
令5年9月11日(月) あじさい会館6階展示室	<p>① 団体の支えになる地域活動の応援者(地域資源)を知る</p> <ul style="list-style-type: none"> ・主任児童委員とは 主任児童委員 豊田副委員長 ・スクールソーシャルワーカー(SSW)とは 相模原市青少年相談センター 職員 ・コミュニティソーシャルワーカー(CSW)とは 相模原市社会福祉協議会 職員 <p>② 情報交換・交流会</p>	44人

②子どもの居場所運営団体情報交換会（緑区）

開催月日・会場	内 容	参加者数
令和5年9月26日（火） 緑区合同庁舎4階集団指導室	① 団体の支えになる地域活動の応援者（地域資源）を知る ・主任児童委員とは 主任児童委員 馬場委員長 ・スクールソーシャルワーカー（SSW）とは 相模原市青少年相談センター 職員 ・コミュニティソーシャルワーカー（CSW）とは 相模原市社会福祉協議会 職員 ② 情報交換・交流会	35人

③子どもの居場所運営団体情報交換会（南区）

開催月日・会場	内 容	参加者数
令和5年10月11日（水） 大野南公民館大会議室	① 団体の支えになる地域活動の応援者（地域資源）を知る ・主任児童委員とは 主任児童委員 寺久保副委員長 ・スクールソーシャルワーカー（SSW）とは 相模原市青少年相談センター 職員 ・コミュニティソーシャルワーカー（CSW）とは 相模原市社会福祉協議会 職員 ② 情報交換・交流会	34人

5) 子どもの居場所総合相談窓口

子どもの居場所を立ち上げ、運営する団体の支援のため、本会（中央ボランティアセンター）に相談窓口を設置し、新規開設等に係る問合せ、子どもの居場所への寄付相談等を行った。

- 相談員：2人配置
- 対応件数：延べ4,499件
 - ・新規立ち上げ相談件数：47件
 - ・寄付相談 件数：108件
 - ・ケース対応相談 件数：20件

2.1 市民活動育成支援事業

（自主）1,369,695円

1) 市民福祉活動団体への助成

当事者活動及びボランティア活動の支援を目的に、障がい児者・高齢者・子ども・難病患者等の福祉課題に取り組む団体に対する活動助成を行った。

- 助成対象：13団体（うち、新規交付団体1団体）
- 助成総額：1,286,250円

2) ボランティアセミナー

市民のボランティア活動を促進するため、活動紹介、活動の心構え、車椅子体験など活動の基礎を中心に本会職員による講習会を実施した。

- 開催回数：17回（会場：緑区合同庁舎、あじさい会館、南保健福祉センター等）
- 受講者数：147人

開催月日・会場	内 容	受講者数
令和5年4月28日（金） あじさい会館ボランティア活動室	・ボランティアの基礎知識 ・活動紹介	12人
令和5年5月17日（水） 緑ボランティア活動室	・先輩ボランティアの体験談 ・車いす体験	5人
令和5年5月30日（火） 南情報交換ルーム	・ボランティアの基礎知識 ・活動紹介	7人
令和5年7月26日（水） 南ボランティア活動室	・ボランティアの基礎知識 ・活動紹介	2人
令和5年7月27日（木） 緑ボランティア活動室	・聴覚障がい者とのコミュニケーションにチャレンジ (聴覚障がい者の講話と手話等体験)	14人
令和5年8月7日（月） 認定こども園すこやか	・会場施設の見学 ・ボランティアの基礎知識 ・活動紹介	12人
令和5年9月1日（金） 南情報交換ルーム	・ボランティアの基礎知識 ・活動紹介	2人
令和5年9月7日（木） デイあやとり	・会場施設の見学 ・ボランティアの基礎知識 ・活動紹介	4人
令和5年9月27日（水） 緑情報交換ルーム	・先輩ボランティアの体験談と折り紙体験 ・車いす体験	11人
令和5年10月17日（火） 地域活動支援センター 第3けやき	・会場施設の見学 ・ボランティアの基礎知識 ・活動紹介	6人
令和5年10月26日（木） 大野中公民館	※おおのなかボランティアセンターと共催で実施 ・ボランティアの基礎知識 ・おおのなかボランティアセンターの活動紹介	19人
令和5年11月28日（火） 緑情報交換ルーム	・アイマスクを使った五感体験 ・視覚障がい者誘導体験	7人

開催月日・会場	内 容	受講者数
令和5年12月11日(月) あじさい会館ボランティア 活動室	・ボランティアの基礎知識 ・活動紹介	6人
令和6年1月30日(火) 緑津久井やまゆり園	・会場施設の見学 ・知的障がいがある方との接し方 ・活動紹介	13人
令和6年2月26日(月) あじさい会館ボランティア 活動室他	・あじさい会館内の見学 ・ボランティアの基礎 ・活動紹介	10人
令和6年3月7日(木) ボンセジュール小田急相模原	・会場施設の見学 ・ボランティアの基礎知識 ・活動紹介	10人
令和6年3月21日(木) 緑情報交換ルーム	・先輩ボランティアと座談会	7人

3) 課題別ボランティアセミナー

精神保健ボランティアグループひびきと共催し、ボランティア活動に関心のある人及び活動中の方を対象に、心の病のある方との接し方や、支援に際して必要な知識・心構えについての講座と当事者による体験談の発表、精神保健ボランティア活動についての情報提供を行った。

開催月日・会場	内 容	受講者数
令和6年3月16日(土) あじさい会館6階展示室	・ボランティア活動について ・精神障がい症状の特性と対処の仕方 ・当事者からの話 ・福祉現場から 活動内容と利用者への思い ・精神保健ボランティアグループ「ひびき」の案内 ・相模原市社会福祉協議会の活動の案内	81人

4) 相模原市市民活動中間支援施設連絡会(相模ボラディア)

市民活動中間支援組織の連携・協働を進めることを目的に定例的に会合を行い、団体間の情報共有を行った。また、昨年度に続き市民活動団体の協力を得て「地元でプチ・インターンシップ」を実施するとともに、コロナ禍で中止していた「ボランティアチャレンジスクール」を再開した。

- 加入施設：ボランティアセンター、さがみはら市民活動サポートセンター、
さがみはら国際交流ラウンジ
- オブザーバー：相模原市立青少年学習センター
- 定例会開催数：15回

○「地元でプチ・インターンシップ」

開催月日・会場	内 容	参加者数
令和5年7月2日(日)～ 令和6年2月15日(木) 産業会館3階大研修室 けやき会館2階大研修室等	・市内在住・在学の大学生等が市民活動・ボランティア団体の活動現場を訪問し、ボランティア体験やインタビュー等により活動の魅力や団体の抱える課題等を把握した上で、団体のPR動画(3分程度のショートムービー)を制作(8団体分) ・制作した動画は、WEB等にて活用	大学生等：13人 市民活動団体：8団体

○「ボランティアチャレンジスクール」

開催月日・会場	内 容	参加者数
令和5年7月15日(土) あじさい会館6階展示室	・オリエンテーション(ボランティアの心構え、活動先の紹介・調整)	中・高校生27人
令和5年7月24日(月)～ 8月26日(土) 各ボランティア活動先	・中・高校生が福祉・国際交流・環境・教育等多様な分野のボランティア活動に参加(累計59件)	中・高校生27人
令和5年8月27日(日) あじさい会館6階展示室	・まとめの会(感想や学んだことの共有、振り返り)	中・高校生16人 ボランティア活動先 8団体10名

2.2 ボランティアセンター運営事業

(補助・自主) 8,657,701円

1) 緑・中央・南ボランティアセンターの管理運営

- 活動把握ボランティアグループ：119団体
- ボランティアセンター相談員7人配置

相談件数の状況

区 分	件 数
ボランティア活動相談件数	507件
ボランティア依頼相談件数	427件
その他相談件数	1,016件
合計	1,950件

ボランティア依頼内容

区 分		件 数
個人	通院介助	0件
	学校・保育園送迎	3件
	外出介助	6件
	話し相手・見守り	14件
	清掃関係	2件
	その他	20件
団体	レクリエーション指導	7件
	日課活動補助	28件
	イベント支援	63件
	パフォーマンス披露	179件
	その他	19件
合計		341件

2) ボランティアグループ活動等調査

ボランティアグループの活動状況を調査し、窓口での紹介及び本会ホームページでの情報提供を行った。

3) 「50代から始める地域活動マッチング相談会」におけるボランティア・ブースの出展

相模原市高齢・障害者福祉課主催の「50代から始める地域活動マッチング相談会」において、市民へのボランティア啓発及びボランティア活動企画創出などを目的に、ボランティアセンターでブースを出展した。地域活動に参加意欲のある方をマッチングする相談会およびパネル等の展示を行った。

開催月日・会場	内 容	来場者数
令和6年1月27日(土) 産業会館多目的ホール	50代から始める地域活動マッチング相談会 ・いるかバンク等活動紹介 ・ボランティア活動相談ブース出展 ・ボランティア活動のパネル展示	市社協ブース来場者 20人(内いるかバンク登録者4人)

2.3 いるかバンクの運営

(自主) 234,021円

ボランティア活動の促進を目的に、ボランティア登録制度「いるかバンク」を運営し、登録者に活動情報の提供を毎月行い活動機会の充実を図った。

- 登録者数：594人
- 活動者数：延べ2,991人

1) いるかバンク通信の発行（ハガキ版：10回、A4両面版特大号：2回）

いるかバンク通信第336号
令和5年12月 中央ボランティアセンター発行

いるかバンク登録者交流会
「いるかフェ」に参加しませんか？！

いるかバンク登録者同士の情報交換や交流、活動上の悩み共有などができる機会です。ぜひ、ご参加ください！

日 時：①12月5日(火) 午後1時30分～3時30分
②12月8日(金) 午前10時～正午

※いずれか一方の参加でもかまいません！

場 所：あじさい会館6階 ボランティア活動室
(中央区富士見 6-1-20)

内 容：○ボランティア同士の情報交換
○ちょっとした創作活動(下の2つ)

 釣り巡遊活動の「魚」作り (絵描き・色塗り等)

 地域の独居高齢者等に贈るカレンダー作り(絵描き等)

参加申込 開催前日までに中央ボランティアセンターへ
042-786-6181 / svc@sagamiharashishakyo.or.jp

相模原市社協ボラセン【緑・中央・南】

 **いるかバンク通信第339号**

令和6年4月いるかバンク通信をお届けします♪

今回のいるかバンク通信は、更新の有無関わらず送っています。更新の手続きを行っていない方は、ぜひ、更新の手続きをお願いいたします！

内容に関するお問い合わせは、このLINEに返信いただくか、電話(042-765-7085)にご連絡ください。

相模原市社協ボラセン【緑・中央・南】

★ボランティア募集★

①UDトークのお手伝い

活動内容：スマートフォンのアプリを使用し、音声で文字にする際におきる誤字を修正する活動。(バリアフリー上映)

その他、会場案内など。

活動日時：
昼の部...13:45～18:00
夜の部...16:30～20:00

各回5名程度募集

活動場所：相模原市市民ホール(相模原市南区合同庁舎内)

2) 公式LINEアカウントの活用によるボランティア活動情報の提供

情報発信ツールLINEの公式アカウントを活用して、ボランティア活動情報等の提供に取り組んだ。

3) いるかバンク登録ボランティア交流会「いるカフェ」の開催

いるかバンクに登録するボランティアによる情報交換や特技の披露等を通じて、ボランティアの活動上の不安の解消やボランティア同士のつながり作りを行うことを目的に、交流会を開催した。

開催月日・会場	内 容	参加者数
令和5年12月5日(火) あじさい会館ボランティア 活動室	○情報交換 ・これまでに経験したボランティア活動について 等 ○ワーキング ・魚釣り遊び活動の「魚」づくり	10人
令和5年12月8日(金) あじさい会館ボランティア 活動室	○情報交換 ・これまでに経験したボランティア活動について ・お茶マイスター・ボランティアによる活動紹介 等 ○ワーキング ・魚釣り遊び活動の「魚」づくり ・ペン習字によるアート体験	8人

※他、緑ボランティアセンターにおいて、ボランティアセミナーと合同で全6回開催

4) 大学生や企業からのボランティア活動への対応

学生や企業からのボランティア活動希望の相談に対応。相談者の希望や活動イメージに応じたボランティア活動を案内したり、活動プログラムの開発を試みるなどの取組みを行った。

2.4 防災ボランティア推進事業

(補助・自主) 276,390円

1) 「災害ボランティアセンター立上げ講座」の開催

本市内で災害が発生した際の「災害ボランティアセンター」の機能や運営等の考え方について、運営関係者の理解を深めるための講座を企画・開催した。テーマを「災害ボランティアセンターにおけるICT(情報通信技術)の導入」に設定し、災害ボランティアセンターの運営に関わる相模原市職員や、相模原青年会議所、津久井青年会議所、相模原災害ボランティアネットワークの担当者も参加した。

○ 共催：相模原災害ボランティアネットワーク、後援：相模原市

「災害ボランティアセンター立上げ講座」の開催

開催月日・会場	内 容	受講者数
令和5年6月11日(日) 市民会館2階講習室	講 義：「ICTを活用した災害ボランティアセンターの運営について」 (講師：株式会社コンサイド 畑 謙司氏) ワーク：「災害時ITシステム(JoyLinks)の活用について」	20人

2) 災害ボランティアコーディネーター養成講座の開催

本市内で災害ボランティアセンターを運営する際、ボランティアのコーディネート業務に携わる「災害ボランティアコーディネーターを養成するための講座を開催した。

- 主催：相模原災害ボランティアネットワーク（本会共催）

開催月日・会場	内 容	受講者数
令和6年1月20日（土） あじさい会館第1・2展示室	<ul style="list-style-type: none"> ・市社協と相模原災害ボランティアネットワークの連携 ・防災から地域を知る（ハザードマップの活用） ・災害ボランティアセンターの機能と位置づけ ・災害ボランティアコーディネーターの役割 ・被災地支援活動報告 ・災害VCマッチングシミュレーションゲーム 等 	10人

3) 中央地区防災フェスタへの参加

中央地区防災フェスタ実行委員会が主催する、広く市民に向けた災害活動の啓発や防災意識の向上を目的としたイベントに参加し、相模原災害ボランティアネットワークとともにブースを出展した。

開催月日・会場	内 容	受講者数
令和5年11月18日（土） 市立富士見小学校校庭	<ul style="list-style-type: none"> ・災害ボランティアクイズ ・相模原災害ボランティアネットワークの活動の周知 ※ICTに関わる訓練も行う予定だったが、参加者の滞在時間が全体的に短かったため、実施しなかった。 	150人

4) 災害時相互協力連絡会議の開催

「災害時における相互協力に関する協定書」に基づき、平時からの連携協力体制を図ることを目的に、市・市社協・公益社団法人相模原青年会議所・公益社団法人津久井青年会議所により2回開催した。

開催月日・会場	内 容	参加者数
令和5年10月4日（水） あじさい会館6階ボランティア活動室	<ul style="list-style-type: none"> ・協定4者間における連絡名簿の作成について ・4者協定・地域防災計画について ・相模原市総合防災訓練の振り返りについて ・災害ボランティアセンター運営における各構成員の役割分担について ・情報交換(各構成員の災害に関連する取組みなど) 	11人
令和6年3月4日（月） あじさい会館6階ボランティア活動室	<ul style="list-style-type: none"> ・4者協定・地域防災計画について ・災害ボランティアセンター運営における各構成員の役割分担について ・協定4者による平時での研修・訓練の開催について ・情報交換(各構成員の平時での取組み、被災地支援報告など) 	10人

5) 災害ボランティア活動訓練への参加

相模原市総合防災訓練（第44回九都県市合同防災訓練相模原市会場）の一環として、災害ボランティア活動への意識の高揚を図ることを目的に、ブースを設置した。

今年度は、例年実施していた、熱中症対策の飲料水とプログラム配布を仮想のニーズとする災害ボランティアセンター運営訓練を見直し、「ICT(Kintone)を活用した災害ボランティアセンター活動体験」を実施した。

- 日時：令和5年9月1日（金）
- 会場：相模原総合補給廠一部返還地
- 参加者：250人



6) 「災害に備える地域力講座」の開催

「相模原市地域防災計画」に基づき、平常時より災害時のボランティア活動の強化を図るために、地区社協・公益社団法人相模原青年会議所・公益社団法人津久井青年会議所・相模原災害ボランティアネットワークを対象に、「災害ボランティアセンター」の機能や運営等の考え方、日頃から地域でできる取組みについて学ぶ講座を開催した。

開催月日・会場	内容	受講者数
令和6年1月31日（水） 相模原市民会館2階 第2大会議室	説明：「災害ボランティアセンターを考える」 担当：市社協中央ボランティアセンター	37人
令和6年3月19日（火） 南区合同庁舎3階 講堂	講義：「災害に備える地域力講座」 ～共助を育むためにできること～ 講師：ピースポート災害支援センター	12人
令和6年3月26日（火） 緑区合同庁舎4階 集団指導室	ワーク：災害時の困りごとへの対応・備えを考える	19人

25 ボランティア協会活動助成

(自主) 1,450,000 円

相模原ボランティア協会の運営及び活動に対する助成を行った。

1) ハンディキャブ号の運行

- 活動件数：741 件 利用者数：延べ 1,088 人
- 運転ボランティア：延べ 741 人

2) ボランティア養成講座の開催

ア 障がい者を知らない間に差別していませんか！

～障害者差別解消法を知るための入門講座～

開催月日：令和 5 年 7 月 22 日（土）

会 場：あじさい会館 6 階展示室

参加者：20 人

イ 傾聴ボランティア養成講座

開催月日：令和 6 年 3 月 12 日（火）、19 日（火）、26 日（火）

会 場：あじさい会館 6 階展示室

参加者：80 人

26 地区住民相談支援活動推進事業

(自主) 942,208 円

地域の支えあい活動や相談支援活動をより効果的に進めるための専任担当者として、コミュニティソーシャルワーカー（CSW）を市内全 22 地区に配置し、「個別支援（既存の制度だけでは対応困難な個別ニーズの把握と相談支援）」及び「地域支援（地域の支えあい活動の推進、専門機関等との連携体制の構築等）」に取り組んだ。

また、「個別支援」を通して把握した地域課題や「生活支援体制整備事業」から出された福祉課題について、住民や地域団体と情報共有し、課題解決に向けた「地域の仕組みづくり」について地域の団体や住民と検討した。

CSWによる支援の状況

	実相談件数	延支援回数
個別支援	275 件	3,627 件
地域支援		9,252 件

1) 個別支援

○ 相談支援の状況

① 相談内容 対象者別 (延べ件数)

内容	件数	内容	件数
高齢	125 件	外国籍	8 件
精神障がい	54 件	ひきこもり	18 件
知的障がい	7 件	生活保護受給	25 件
身体障がい	15 件	無職	41 件
障がい疑い	29 件	疾病	36 件
子育て	14 件	その他	15 件
ひとり親	11 件		
合計			398 件

② 相談内容 課題別 (延べ件数)

内容	件数	内容	件数
認知症	15 件	虐待・DV	12 件
経済的困難	82 件	自傷行為・自殺	11 件
金銭管理	33 件	精神的不安	55 件
身元保障 死後事務	15 件	孤立	53 件
家事等困難	23 件	見守り	41 件
介護	23 件	傾聴	20 件
就労	17 件	社会資源不足	11 件
ごみ問題	26 件	余暇支援	11 件
住居問題	28 件	居場所づくり	23 件
近隣トラブル	37 件	その他	110 件
出産・子育て	16 件		
			662 件

2) 地域支援

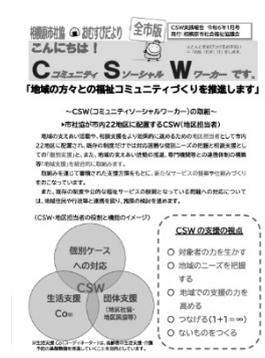
ア 地域支援の状況

○ 啓発活動

- ・ CSW 実践報告「こんにちは！ CSW です。」の発行と周知
(民生委員・児童委員へ 各地区民児協定例会を通じ CSW の取組を報告し、各地域団体へも活動について周知を行った。)
- ・ タウンニュースへ地域の福祉活動について情報提供し、住民活動の啓発を行った。

○ 各機関との関係構築・連携

- ・ 障害者相談支援キーテーションや松が丘園との情報共有
- ・ 若者世代の居場所づくりについて、就労支援事業所等関係機関との連携
- ・ 通学支援が必要な児童のボランティア活動支援と、通学支援に関する課題をボランティアセンターと検討
- ・ 総合情報システム「こころ」による本会内での情報共有と連携
- ・ 各区の包括連絡会へ参加し、CSW 実践事例の報告やグループワークを通じた CSW の役割を共有



こんにちは！ CSW です。



通学支援の活動の様子

- ・地域包括支援センターが開催するケアマネジャー交流会に参加し、CSW の活動事例や地域資源の状況の説明を通して CSW の役割を共有

○ 地域でのネットワークづくり

- ・地区社会福祉協議会や地区ボランティアセンターとの連携
- ・子どもの居場所運営団体と地域や企業などとのつながりの推進を支援
- ・地域の多様な主体や当事者の参加による地域とのつながりの推進を目的として、小・中学校とボランティアセンター、地域のボランティアグループや福祉施設、関係機関等と連携して、地域に根差した福祉教育の実施を支援



地域に根差した福祉教育を支援

○ 住民の自主団体の立ち上げ支援

- ・CSW に不登校児を抱える保護者同士の繋がりについて複数相談が入ったことから、中央区を中心に不登校児を抱える保護者同士のネットワークづくりの場である「ほっとけ～き」の立ち上げ支援を実施

打合せ

回	日時・参加者	主な意見・検討事項
第1回	令和5年12月20日(水) 午後1時30分～3時 参加者：保護者2名、主任児童委員2名、社協5名	<主な意見> ・行き渋り、不登校になった場合の相談場所やフリースクール等の情報が得にくい。 ・相模原市内には不登校児の親の会のような場がほとんどない。親同士が繋がったり相談できる場がほしい。 ・不登校に関して悩む親子を増やしたくない。
第2回	令和6年1月22日(月) 午後3時30分～5時 参加者：保護者3名、主任児童委員1名、スクールソーシャルワーカー1名、社協3名	<主な意見> ・不登校＝マイナスなイメージがまだまだ強い。 ・学校に行けなくても、公民館のお手伝いで外出することもある。地域にそのような場があると良い。 ・インターネットで検索しても不登校の親の居場所はなく、さまようことが辛かった。
第3回	令和6年2月2日(金) 午後3時～5時 参加者：保護者3名、主任児童委員2名、社協3名	<検討事項> ・社協より団体登録や助成金の案内を行った。 ・親同士で悩みを話したり、繋がったりする場を立ち上げることとなり、名称を検討した結果、「ほっとけ～き」に決定した。令和6年3月から主な活動をお話会とすることとし、チラシを作成することになった。

「ほっとけ～き」第1回お話し会

日時・参加者	主な意見
令和6年3月11日(月) 午後3時～5時 参加者：保護者9名、主任児童委員3名、学習支援団体5名、放課後等デイサービス事業所1名、社協4名	<主な意見> ・不登校について親同士の話す機会が少なく、他市やオンラインの活動を探して参加していた。近くに話せる場があると良い。 ・子ども自身が「登校できることは当たり前。登校できていない自分はダメだと思うけど、行くのは辛い」と感じている。学校が「絶対」ではなく「居場所の一つの選択肢」であると考えられると良い。 ・ずっと子どもといると親の方が疲れてしまうので、双方にとって良い方法はないか悩んでいる。

・以降、「ほっとけ～き」主催でお話し会を開催

・日時:毎月第2月曜日(祝日休み)午後3時～5時 場所:あじさい会館 6階 ボランティア活動室

3) CSW 研修等の実施

CSW 全体研修の開催

開催月日	参加人数	内容
令和5年6月19日(月)	14人	○第9・10次地域福祉活動計画について ○グループワーク 「相模原市社協のCSWについて、みんなで考えよう！」 テーマ①どこまでやるのか問題 ・「どこまでやるのか」ではなく、考え方の方向性一致させることについて意見交換 テーマ②ひきこもり支援の仕組みづくり ・どのような仕組みが考えられるかアイデア出し
令和5年12月14日(木)	16人	○テーマ 「社会福祉協議会の存在意義から捉えるCSWの役割と期待」 ≪講師≫ 神奈川県立保健福祉大学 社会福祉学科 教授 中村美安子 氏 ○グループワーク

CSW リーダー・中堅職員研修会の開催

開催月日	参加人数	内 容
令和6年3月1日（金）	17人	○CSW 実践報告会 「私たちは／CSW をどのように説明するか」～先輩職員から ○事例報告（田名・相武台・大野北地区）～活動について情報を共有。隅河内アドバイザーより講評。

事例検討会等の開催、参加

区 分	内 容
CSW 事例検討会 グループスーパービジョン	区ごとに月1回程度、事例検討会を実施。事例検討や情報共有を図るとともに、必要に応じて、田園調布学園大学 隅河内司教授の助言を受けた。
南・緑キーステーション グループ・スーパー・ビジョン	キーステーション主催のGSVに参加 参加している機関との情報交換および地域課題の共有を図った。
中央区 グループ・スーパー・ビジョン	社会福祉事業団（松が丘園）主催のGSVに参加 参加している機関との情報交換および地域課題の共有を図った。
中央・勉強会	主任以下の職員を対象とした勉強会を月1回実施 各地区の取り組み等、情報共有を図った。

4) 住民の自主団体の立ち上げ支援

2.7 生活支援体制整備事業

（受託）54,335,000円

29 日常生活圏域に「生活支援コーディネーター」を配置し、各圏域の地域包括支援センターとの連携・協働により、介護予防・日常生活支援総合事業による高齢者を支える仕組みづくり等を「地域づくり部会」の運営支援を通じて取り組んだ。

29 圏域の「生活支援体制整備事業」主な取組

	圏域名	内 容	地域づくり 部 会 開 催 回 数
1	橋 本	○ 担い手の育成に向けた取組 ・ 地域づくり部会参加団体である地区社協に今年度新たにLINE公式アカウントを取得頂き、「もしもの時のための知っトク講座」の開催を通じた人材登録の仕組みと、登録したボランティアへの参加を促す仕組みを構築した。登録者は52名を数え、登録者に対し見学会や体験会など参加を促す取組を計5回企画・開催し、延べ30名の参加を得た。	4 回
2	相 原	○ ネットワークの再生・強化に向けた取組 ・ 生業としてだけでなく、住民が抱えている「地域生活課題」を把握し、本業から一歩踏み出して福祉専門職等につなぐことや、よりよい暮らしに向けた地域づくりに取り組んでいる人材（お店や企業）を把握し、地域に紹介・知らせていくと共に、新たな活動を興していくパートナーとしていくための情報収集に努めた。	
3	大 沢	○ 地域アセスメント及び福祉関係者のネットワークづくり ・ 地区内を6会場に分け、自治会、民生委員、老人クラブ、百歳体操等活動者、介護支援専門員、地域包括支援センターとの情報交換会を実施。17自治会ごとに地域アセスメントを実施し、地域の社会資源やお散歩マップを地図に落とし込み可視化して共有。関係者間でネットワークを構築した。 ○ お散歩プロジェクトの実施 ・ いつまでも元気に地域で助け合って住み続けるために「自然いっぱい♡歩いてつながる大沢さんぽ」をテーマに、包括と連携して座談会後に介護予防教室、お試し散歩、お散歩勉強会を地区内6会場ごとに実施。 ○ 移動販売等買い物支援 ・ 上九沢団地での移動販売実施に向けて協力し、包括、民生委員と連携して出張相談を毎月1回実施。 ○ 部会活動情報紙「おおさわの風」2回発行 ○ 小中学校での福祉教育で高齢者の活躍の場を提供した。	3 回 作業部会 6 回
4	城 山	○ 外出支援 ・ 地域づくり部会の作業部会として、外出支援についての検討を行なう「おでかけの“わ”委員会」を開催。参加の場及び買い物、通院など、地区内の移動支援や個別送迎などについて協議。 ・ サロン等の参加者の送迎を3ヶ所で実施（社会福祉法人城山楽寿会から車両および運転手の協力、サロンから添乗の協力） ・ 若葉台地区における「グリーンスローモビリティ運行支援事業」の取組との連携および協力、支援 ・ 外出支援の担い手養成のため、市主催の外出支援ボランティア担い手養成講座等に参加 ○ 見守り活動 ・ 個別事例部会においてテーマとなった高齢者の地域での見守りについて、地域でできる取組について検討 ○ 居場所づくり ・ シニアサポート活動の運営支援 ○ ふれあい・いきいきサロンや地域住民交流の場、認知症カフェ「まんまるえがお」（オンライン開催）などの支援	4 回 作業部会 6 回

	圏域名	内容	地域づくり部 会 開催回数
5	津久井	<ul style="list-style-type: none"> ○ 買い物支援の検討 <ul style="list-style-type: none"> ・ 買い物ツアー（買い物支援）の実施方法について検討 ・ 試行実施として「買い物ツアー」を2回実施 ・ 試行実施の結果を整理し報告 ・ けんこう号が利用可能になり、けんこう号を活用した買い物支援についても検討を開始。 ・ けんこう号を活用出来る団体には、けんこう号利用しての買い物支援を提案して行く。 ○ 買い物ツアー試行実施（全2回） 対象地区：名手地区、青野原地区 日時：名手地区 6月20日（火）、青根地区 11月16日（木） 名手地区 午後1時30分～15時50分 青根地区 午後1時35分～15時 行き先：名手地区：城山（向原）周辺、青根地区：三ヶ木周辺 参加者数：名手地区4名 青根地区2名 ○ けんこう号を利用したの買い物ツアー 津久井より、けんこう号を利用して、アリオ橋本百歳体操に参加。その後買い物をする企画を体験実施 対象地区：名手地区 日時：11月14日（火）午前10時～午後3時30分 行き先：アリオ橋本 参加者：7名 ○ 内容：百歳体操、アリオ橋本・イトーヨーカドーでの買い物 	<p style="text-align: right;">4回</p> <p>買い物ツアー実施</p> <p style="text-align: right;">2回</p> <p>けんこう号を活用 しての買い物支援</p> <p style="text-align: right;">1回</p>
6	相模湖	<ul style="list-style-type: none"> ○ 居場所づくり <ul style="list-style-type: none"> ・ シニアサポート活動への運営支援 ○ 生活支援 <ul style="list-style-type: none"> ・ 住民相互の支えあい活動「ちょこっとボランティア相模湖」への運営支援 ・ 買い物支援について 既存の交通機関を利用した買い物についての検討 ・ 認知症理解普及啓発について 地区内サロン等にて積極的に認知症についての理解を促すためワークショップ等を包括職員と実施 ○ 作業部会 <ul style="list-style-type: none"> ・ 地区内百歳体操 11団体の交流会の企画について検討 ・ 12月15日（金）1月19日（金）3月1日（金）の3回実施 ・ 送迎にはけんこう号を利用 ・ 参加者数延 117人 ・ 百歳体操おさらい、団体代表者からの体験談、参加者交流を行った 	<p style="text-align: right;">4回</p> <p>作業部会 2回</p>

	圏域名	内 容	地域づくり 部 会 開 催 回 数
7	藤 野	<ul style="list-style-type: none"> ○ 外出支援・買物支援 <ul style="list-style-type: none"> ・ 月1回「藤野台課題検討会」に包括とともに出席した。 ・ 藤野台住民の外出支援買い物ツアー・「ももちゃんサロン」月2回実施 病院への送迎（片道のみ）随時 ・ 外出支援活動を希望している地域住民に対し、市のお出かけサポート支援 事業補助金について紹介。補助金申請の支援を行い3団体が補助金申請 ○ 見守り活動 <ul style="list-style-type: none"> ・ 地域の「ゆるやかな見守り」について自治会長会議、商工会理事会にて説 明 新たに5事業者の協力を得た。 ・ 健康フェスタふじの「みまもりあいプロジェクト」の行方不明者捜索アプ リの普及と啓発を兼ねてスタンプラリーを実施 ○ 地域医療との連携 <ul style="list-style-type: none"> ・ 地元医師が主催「藤野の保健室出張相談」に包括と共に出席（年3回） ○ 地域づくり部会 5回開催 研修会2回実施 <ul style="list-style-type: none"> ・ 外出支援、ゆるやかな見守りについて協議 ・ 健康フェスタの参加について協議 ・ 地域医療との連携、フレイル予防・未病改善の啓発について協議 ・ けんこう号の活用、いきいき百歳体操の立ち上げについて協議 ・ 第9期高齢者保健福祉計画取組の方向性について ・ 地域づくり部会だより1回発行 	<p style="text-align: right;">5回 藤野台課題検討会 12回 研修会2回</p>
8	小 山	<ul style="list-style-type: none"> ○ 介護予防や閉じこもり予防とした、おでかけマップを作成（2000部） <ul style="list-style-type: none"> ・ 地区内37カ所の施設や店舗に協力してもらい、マップを配架 ○ マップの完成報告とともに、歩き方講座の開催 ○ マップの活用を目的に、宮下歴史散策の開催 ○ 地域づくり部会だより、1回発行 	<p style="text-align: right;">4回 作業部会 8回</p>
9	清 新	<ul style="list-style-type: none"> ○ 生活支援 <ul style="list-style-type: none"> ・ 清新地区社協「ちょこっとボランティアくらぶ」で継続的にごみ出し活動 を実施 ・ シニアサポート活動（訪問型）としてごみ出し活動を実施（延べ276回） ○ 担い手づくり <ul style="list-style-type: none"> ・ 「ちょこボラ」の定例ミーティングにおいて、シニアサポート活動につい て啓発。シニアサポート活動養成研修を行い、新たな担い手の確保 ・ 福祉事業者等とお互いに支え合う仕組みについて意見交換。国道の花壇整 備や集いの場をきっかけに地域活動へのつながりについて検討 ○ 集いの場について ○ 「集いの場検討小委員会」を立ち上げ検討。候補地等について全12回の 検討を重ね、場所を決めることができた。名称については「清新カフェ」 に決定。実際の運営については地区社協が実施。 	<p style="text-align: right;">4回 小委員会 12回</p>
10	横 山	<ul style="list-style-type: none"> ○ 買物支援・居場所づくり <ul style="list-style-type: none"> ・ 企業と連携した「移動販売」を実施。見守り支援・移動支援・情報提供・ 集いの場として、3箇所以小コミュニティを形成。 ・ 企業の担当者と情報交換会を開催。 ○ 生活支援 <ul style="list-style-type: none"> ・ シニアサポート活動通所型6か所、訪問型4か所が活動中。 ・ 「横山 Kizuna パーキング」の整備・強化。ルール of 整理や認識の共有を 図った。また、光が丘地区との情報交換会を開催。 ・ 世界アルツハイマー月間に向け、認知症の理解と見守りの促進を図る「オ レンジプロジェクト」を実施。 ○ ニーズ調査 ○ 地域にお住まいの高齢者に「フレイル予防アンケート」を実施。 	<p style="text-align: right;">4回 作業部会 5回 情報交換会 2回</p>

	圏域名	内 容	地域づくり 部 会 開 催 回 数
11	中 央	<ul style="list-style-type: none"> ○ 出張型居場所づくりの取組 ・居場所の在り方を検討するとともに、出張型の居場所づくり事業として「ふれあいいきいき広場」を矢部2丁目、矢部4丁目、弥栄で計3回開催 ○ 広報啓発 ・地域包括ケアシステムの仕組みと「ふれあいいきいき広場」の周知を目的に地域づくり部会だよりを1回発行 	4回
12	星が丘	<ul style="list-style-type: none"> ○ 高齢者の介護予防・健康づくりの取組について ○ 福祉事業者のための駐車場「星が丘 Kizuna パーキング」の運用について ・百歳体操など通いの場の周知 ・のぼり旗の作成 ○ 高齢者のためのスマホ教室を検討 ○ 地域づくり部会だより2回発行 	5回
13	光が丘	<ul style="list-style-type: none"> ○ ふれあいセンター100歳体操の支援 ・だれでも参加できる100歳体操会場の推進・活動 ○ 訪問福祉従事者への駐車場提供に関する支援検討 ・横山地区で取り組まれている「Kizuna パーキング」の勉強会の実施 ○ 高齢者の介護予防・孤立防止を目指した活動取組検討 ○ 運動施設を活用した介護予防の取り組み検討として、銀河アリーナ施設の研修実施 	6回
14	大野北 第1	<ul style="list-style-type: none"> ○ 通いの場づくりの普及について ・通いの場講座を開催 ○ ちょっとした困りごと支援について ・地域でできるゴミ出し支援についてモデル地区を定めて実施。 ・高齢者の戸別収集については、まちづくり会議や市のゴミ担当局と連携・情報交換を行った。 	全体会 3回 検討チーム 3回 通いの場講座 1回
15	大野北 第2	<ul style="list-style-type: none"> ○ 地域づくり部会通信の発行 	
16	田 名	<ul style="list-style-type: none"> ○ 居場所づくり ・ユニバーサルスポーツ「ポッチャ」を通した介護予防の普及と世代間交流の創出。 ・農作業を通した交流の場「田名ふれあい交流農園」活動支援 ○ 生活支援 ・「田名ボランティアセンター」活動支援 ○ 広報啓発 ・既存団体の周知と、買い物支援の取組の周知を目的とした地域づくり部会だよりの発行 	4回
17	上 溝	<ul style="list-style-type: none"> ○ 相談窓口づくり ・「高齢者相談つなぎの家」実施 ○ 認知症を地域でささえる仕組みづくり ・福祉映画会の開催 「ぼけますから、よろしくお願いします」を上映し、2日間3会場で開催。参加者187人 ・上溝かるた大会の開催 多世代交流及び高齢者の居場所づくりを目的に上溝かるた大会を開催。参加者33人 	全体会 3回 検討チーム 3回 通いの場講座 1回 4回

	圏域名	内 容	地域づくり 部 会 開 催 回 数
18	大野中	<ul style="list-style-type: none"> ○ アンケート調査結果をもとにした小地域ごとの取組の検討 ○ 外出を促す仕掛けとしてのベンチの設置（古淵） <ul style="list-style-type: none"> ・ 地区内企業の協力を得て、ベンチづくりプロジェクトを実施。 ・ 協力者の募集を行い、新たな担い手の発掘を行った。 ○ 買い物支援・地域資源の情報集（鵜野森） <ul style="list-style-type: none"> ・ 民生委員へアンケート調査を実施し、買い物に関する情報を収集した。 ○ 大野中3地区（大野中・大沼・大野台）合同地域づくり部会の開催 ○ 各地区の取組を紹介する動画を作成し、3地区での情報共有を図った。 	<p style="text-align: center;">4回 （うち1回は 大野中地区 3包括圏域 合同部会）</p>
19	大 沼	<ul style="list-style-type: none"> ○ モデル地区でのアンケート結果をもとに、地域での見守りを検討 ○ ささえあい・見守りシートの作成 <ul style="list-style-type: none"> ・ 表面には相談先、裏面には「気づきのポイント」をまとめた、シートを作成し、自治会での全戸配布等を行った。 ○ 見守り勉強会の開催 <ul style="list-style-type: none"> ・ 地域の関係者を集め、見守りに関する勉強会を実施。 	<p style="text-align: center;">4回 （うち1回は 大野中地区 3包括圏域 合同部会）</p>
20	大野台	<ul style="list-style-type: none"> ○ 介護予防や健康づくりについて検討。 ○ 楽しく気軽に外出することを目的とした「お散歩マップ」の作成 <ul style="list-style-type: none"> ・ 3つの散歩コースを記載したマップを作成。裏面には、体操の紹介やQRコードを活用した地域情報を掲載した。 ○ マップを活用したウォーキングイベントの開催 <ul style="list-style-type: none"> ・ 地域の協力を得て、参加者を募り、イベントを実施した。 	<p style="text-align: center;">4回 （うち1回は 大野中地区 3包括圏域 合同部会）</p>
21	大野南	<ul style="list-style-type: none"> ○ 地域課題の把握・検討 <ul style="list-style-type: none"> ・ 地域の強みや困り事について協議し、地域課題の検討を実施 ・ 健康づくりに関するニーズを協議 ○ 担い手づくり <ul style="list-style-type: none"> ・ 悠遊シニアスタッフと関係づくりを行い、地域課題について共有 ○ 集合住宅への支援 <ul style="list-style-type: none"> ・ 高齢化が課題の集合住宅との情報交換を実施 ○ ネットワーク構築 <ul style="list-style-type: none"> ・ 民間企業などの社会資源へ地域貢献活動のニーズを聞き取り 	<p style="text-align: center;">3回 （うち1回は 大野南地区 2包括圏域 合同部会）</p>
22	上鶴間	<ul style="list-style-type: none"> ○ ニーズ把握 <ul style="list-style-type: none"> ・ アンケート調査の結果をまとめ、買い物支援のニーズや生活課題を整理 ○ 買い物支援 <ul style="list-style-type: none"> ・ 買い物情報リスト発行に向けた検討および作業 ・ 移動販売に関する検討 ○ 世代間交流 <ul style="list-style-type: none"> ・ 上鶴間全域で「ぞうきんプロジェクト」を実施。地域から集まった雑巾を上鶴間の教育機関等へ配布し、学校等とのネットワーク構築を図った。また、子や親と直接的なネットワークを図るため、地域イベントや児童クラブ等へ出向き、ぞうきんプロジェクトの周知および子育て世代に向けた支援を通して高齢者の活躍の場づくりを行った。 	<p style="text-align: center;">5回 （うち1回は 大野南地区 2包括圏域 合同部会）</p>

	圏域名	内 容	地域づくり 部 会 開 催 回 数
23	麻 溝	<ul style="list-style-type: none"> ○ 外出支援 <ul style="list-style-type: none"> ・モデル地区である古山台地区は10月より補助金を請求し「麻溝地区移動支援古山台クラブ」として本実施をスタート。 令和5年度は延べ18回実施。 もう一つのモデル地区である当麻・市場・芹沢地区においては「虹の家」が運転手、車両提供ともに打診。 利用者がそろい次第実施予定。 ○ 担い手の養成 <ul style="list-style-type: none"> ・シニアサポート活動スタッフ講座を年2回開催。延べ12人が受講 ○ 多世代交流及び通いの場 <ul style="list-style-type: none"> ・シニアサポート団体として「中丸元気クラブ」が補助金を申請し活動を再開。「麻溝生き絆サイズサテライトなないろ」が定員増加にむけて活動拠点を「光明学園相模原高等学校」に変更した。 	4回
24	新 磯	<ul style="list-style-type: none"> ○ 地区内の見守り情報の把握 <ul style="list-style-type: none"> ・地域の方に活用いただける情報（地域の見守り情報等）を発信するため、「あいそ知ってお得な情報紙No.4-②」を発行 ○ 移動支援の仕組みづくりについて <ul style="list-style-type: none"> ・「新磯おでかけサポートわ・わ・わ」にて7月から自家用車を活用した個別の移動支援(通院、買い物)を本格実施 ・10月から社会福祉法人の車両を利用した乗合いの移動支援(買い物)の試行実施を開始 ○ 昨年に引き続き、介護保険事業所等連絡会による徒歩での外出支援として、ベンチの設置やトイレ利用のマークの掲示を行った。 ○ 新磯健康づくりポイント事業の実施 <ul style="list-style-type: none"> ・地域の店舗等の協力によるポイントラリーの実施を通して、徒歩での外出による新たな地域の発見と健康増進を図った。 ○ 孤立化予防と見守りの仕組みづくりについて検討 <ul style="list-style-type: none"> ・新磯地域住民の実態と意識調査を目的に地域で活動している団体を対象にアンケートを実施 ・集計したアンケート結果を部会内で共有した。 	5回

	圏域名	内 容	地域づくり 部 会 開 催 回 数
25	相模台 第 1	<p><相模台第1・相模台第2 合同></p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 居場所づくり <ul style="list-style-type: none"> ・外出時の休息に活用する「ベンチ」の事業所、店舗等の設置促進 (設置趣旨表示「ステッカー」配布、ベンチマップの作成、すもーQRコードの貼付等) ・ふらっと相模台連絡会の開催 ○ 高齢者の興味関心の高い「健康」に基づいた講座の開催 「歌う」・「発声」・「動き」で健康一直線 講師 加藤 由美子 氏 ○ 部会情報提供 <ul style="list-style-type: none"> ・「地域づくり部会だより」の自治会配布 	合同 3回
26	相模台 第 2	<p><相模台第1></p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 見守り活動 <ul style="list-style-type: none"> ・「気になる人」の早期発見・情報共有のための「見守りポイントチェックリスト」の活用方法を検討。周知・啓発のため発行準備 ○ 居場所の確保 <ul style="list-style-type: none"> ・誰でもふらっと立ち寄れる居場所としての「ふらっと相模台」を開催 <p><相模台第2></p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 口腔ケアの地域啓発活動 ○ 相模原市歯科医師会と連携し、百歳体操等の集いの場で問診表を実施した。 ○ 買物支援 <ul style="list-style-type: none"> ・ニーズのある麻溝台地区にてマルシェを実施した。御園南・相模台団地では自治会等の協力により定期開催となった。 	相模台第1 2回 相模台第2 3回
27	相武台	<ul style="list-style-type: none"> ○ 住民主体によるごみ出し支援の仕組みづくり <ul style="list-style-type: none"> ・管理団体の承諾を得て、ごみ出しの支援を受けている人を対象に、時間外にごみ出しをすることができる仕組みを実験導入した。 ○ 住民主体による地域参加のきっかけづくり <ul style="list-style-type: none"> ・地域内ウォークラリーに参加した住民にアンケートをとり、地域活動への参加の意思を確認する。参加希望の住民には地域団体のマッチングを行う。令和5年度は1人の地域参加があった。 	4回
28	東 林 第 1	<ul style="list-style-type: none"> ○ 地域とつながるきっかけとなる講座や相談会の企画、開催 <ul style="list-style-type: none"> ・健康講座等イベントに合わせてお薬相談会を実施。従前の単独のお薬相談会と比較して多くの参加者を得ることができた。 ○ マンション居住高齢者の見守り・サポート活動の仕組みづくり <ul style="list-style-type: none"> ・コロナ後のマンション居住者のニーズ把握のため、マンション自治会交流会を開催。 ○ 交流の場、ふれあい市場の活動について <ul style="list-style-type: none"> ・多様な担い手として、認知症等の課題を抱える高齢者や、社会参加を希望する若者の参加を募った。商店街とコラボしたイベントに担い手として声かけし、多方面の分野との世代間交流の場を作った。 ・高齢者サロンや百歳体操、様々な集いの場を訪問し、ヒアリングを実施し、高齢者の居場所の推進に向けた情報収集を行った。 	4回 (うち1回は 東林地区 2包括圏域 合同部会)

	圏域名	内 容	地域づくり 部 会 開 催 回 数
29	東 林 第 2	<ul style="list-style-type: none"> ○ 高齢者のニーズ把握 <ul style="list-style-type: none"> ・シニアサポート団体や高齢者サロンにて、高齢者ニーズの聞き取りや活動状況の把握 ・近隣に集いの場が少なく高齢者が多く生活している集合住宅「コンフォールさがみ南」において新たな集いの場の立ち上げを実施 ○ 生活支援活動団体の立ち上げ及び担い手の確保 <ul style="list-style-type: none"> ・シニアサポート団体の担い手確保のための広報紙を作成 ○ 複合的な課題を抱え地域から孤立する世帯への支援ネットワークの形成 ○ 「みんなで考えよう ひきこもるといふこと」をテーマに啓発講座を開催 	4回 (うち1回は 東林地区 2包括圏域 合同部会)

2 8 重層的支援体制整備モデル事業

(受託) 9,999,000 円

社会福祉法第 106 条の 4 第 2 項 3 号に規定される「重層的支援体制整備事業（地域づくりに向けた支援）」の取組に向けて必要となる調査研究及び同事業への地域住民、福祉施設、企業等の理解を醸成及び協働の推進を行うことを目的に専任職員 1 名を配置し、令和 4 年度市が定めたモデル地区（藤野地区・田名地区・大野南地区）における調査研究を経て構築されたプラットフォームの充実に向けた調査研究及び地域づくりに向けた支援並びに研修会を実施した。

1) 地域資源等の把握

ア 小圏域における地域資源等の調査及び令和 5 年度より稼働するプラットフォーム「さがみはらみんなの地域情報ナビ（さがみナビ）」における情報共有の推進

○地域資源調査

- ・各地区の居場所及び地区ボランティアセンターの取組について 9 か所（令和 4 年度から通算 36 ヶ所）を訪問し、活動状況を把握した。

○プラットフォームにおける情報共有の推進

- ・相模原市がカシオ株式会社と契約し運用するプラットフォーム（さがみはらみんなの地域情報ナビ）の構築に向けて市内 22 地区の下記データを提供

No.	提供データ	備 考
1	地区社協、地区民児協、地区連等基礎状況	各 22 地区
2	ふれあい・いきいきサロン（高齢者・障がい者）	218 件・7 件
3	ふれあい子育てサロン	33 件
4	地区ボランティアセンター	14 件
5	種別を問わない居場所	38 件

No.	提供データ	備考
6	市域ボランティアグループ（手話サークルを含む）	31件 地図情報表記が可能な団体のみ
7	地区ボランティアグループ	57件
8	移動販売拠点	29件
9	日本語教室	国際交流ラウンジホームページより
10	子ども食堂	58件
11	無料学習支援	37件
12	医療・介護事業者応援提供駐車場	20件（横山のみ）所在は非公開
13	障害者団体	市福祉の手引きより

- 「さがみはらみんなの地域づくりナビ（さがみんナビ）」の周知
 - ・本会ホームページトップページに上記サイトのバナーを表示

イ モデル地区等に於けるプラットフォームで得た情報を活用した連携づくりへの支援

モデル地区の地区社会福祉協議会の役員会・部会等に出席し、令和4年度に調査を行った。モデル地区の社会資源情報等に基づき連携づくりの支援を実施した。

○藤野地区

- ・地区社協財源確保の一環として例年、地区内の企業に協力を求めている企業協力寄付金について、つながりのなかった地区内 SDGs パートナー企業の情報提供を行った。結果、新たに5企業が寄付への協力を行うこととなった。
- ・地区ボランティアセンター「おたがいさまネットふじの」への依頼で高所での木の剪定作業について事故防止の観点から対応不可との課題について、隣接地区で実績のある安価で対応可能な事業所の情報提供を行い、連携及び課題解決につながった。
- ・令和4年度の社会福祉法人向け研修会を契機に神奈川県社会福祉協議会の生活困窮者支援事業「ライフサポート事業」に加入し、同事業 CSW を設置した津久井やまゆり園が藤野地区障害施設情報交換会に参加した。

○田名地区

- ・地区内のアマゾンジャパンフルフィルメントセンター（SDGs パートナー企業）から地域貢献及び職員の福利厚生の一環として福祉団体による野菜販売の依頼があり、地区社協「ふれあい交流農園」で生産した野菜を販売した。なお、同様に農福連携の取組を行っている城山地区社会協議会「しろやまふれあい農園」の他2団体で生産した野菜も販売された。今後継続の予定。
- ・犬の散歩のついでに見守りを推進する「たなワンあんしんパトロール」について麻布大学（SDGs パートナー）との連携を提案。同事業の広報紙「たなワン通信」に同大学教授のコラム掲載が実現し、これを契機に今後連携を進めることとなった。
- ・地区内社会福祉法人との情報交換会を開催。地区内4法人7施設が出席した。今後地区内で検討が進められる買い物支援への車両提供や施設利用者によるボランティア活動への協力等について意見交換が行われた。
また、代表の1法人が地区社協理事として参画することが了承された。

○大野南地区

- ・地区内のリサイクルショップ（SDGs パートナー企業）の憩いの場設置を契機に地区社協に入会するとともに社員の音楽活動でふれあい・いきいきサロンでのボランティアにつながった。

- ・地区社協が行う見守り活動「ほほえみネット」への地域内商店の参画が決定した。まずは、市社協福祉の掲示板を設置している10店舗に啓発チラシを掲出し、協力店舗を広げてゆく予定。

2) 重層的支援体制整備事業（地域づくりに向けた支援）への理解の促進

ア 地区社協等地域団体の役員等を対象とした研修の開催

開催月日・会場	内容	参加者数
令和5年11月22日（水） あじさい会館6階展示室	説明 「重層的支援体制整備モデル事業について」 市社協重層的支援体制整備担当者 歌丸 浩一 （仮称）さがみはらみんなの地域づくりナビについて カシオ計算機株式会社 宮下 悟 氏	53人
	講義「令和の時代の地域活動」 講師 静岡県地域づくりアドバイザー・里山くらし labo 代表 池田 水穂子 氏	

イ 社会福祉法人等事業者を対象とした研修の開催

開催月日・会場	内容	参加者数
令和5年1月26日（金） オンライン（ライブ）受講	講義「重層的支援体制整備事業の理念と福祉施設に求められること～身近な地域の課題解決に向けた地域貢献のあり方～」 講師 同志社大学 社会学部 教授 永田 祐 氏	22施設 25人
	説明 「重層的支援体制整備モデル事業について」 市社協重層的支援体制整備担当者 歌丸 浩一 （仮称）さがみはらみんなの地域づくりナビについて カシオ計算機株式会社 宮下 悟 氏	

ウ 「重層的支援体制整備事業（地域づくりに向けた支援）」に合致する既存又は、新たな取組の周知及び活動の基盤整備及び支援

- 空き家活用に関するホームページコンテンツの充実
 - ・地域の拠点として空き家・空き店舗の活用を促すことを目的に本会ホームページ「さがみはらのつながりアクション」内に令和4年度より「with 空き家」を設け、3事例（通算6事例を紹介）を紹介した。
- 企業・社会福祉法人の取組に関するホームページコンテンツの新設
 - ・地域の福祉活動に協力する企業・社会福祉法人の活動周知を目的に本会ホームページ「さがみはらのつながりアクション」内に「with 企業」「with 社会福祉法人」を新設。それぞれ企業12、社会福祉法人4の事例を紹介した。
- その他企業等からの協力依頼への対応
 - ・地域協力を志向する企業の相談を受け、子ども食堂さくらんぼとの連携を実現

- ・日本労働者協同組合ワーカーズコープセンター事業団神奈川事業本部より3事業所がある南区での地域活動協力の申し出があり、南区事務所CSWとの打ち合わせを実施。生活困窮者への個別支援においてCSWと連携して食糧支援を実施した。
- ・UR都市機構が指向する地域医療福祉拠点化の取組について、今後の地域と連携について検討に向け、助言及び協力

3) モデル地区への説明

モデル地区について「さがみはらみんなの地域づくりナビ」についての説明を実施。

29 パートナーシップ促進事業

(自主) 253,833円

1) 企業・法人とのパートナーシップ

社会貢献活動を希望する企業・法人と市民による支えあい活動と連携づくりを進めるための啓発活動を行った。

ア 企業・法人からの相談

・6件

イ 企業・法人向け啓発事業

① 第10次地域福祉活動計画に向けて、地域貢献活動等についてのアンケート調査を実施

・実施期間：令和5年5月18日～6月19日

・依頼企業数：105件

回答数：54件（回答率 51.4%）

・依頼施設数（高齢者施設・障がい者施設・保育園・こども園）：228件

回答数：93件（回答率 40.7%）

② 「SAGAMIHARA SDGs EXPO」出展

・企業や法人等に、市社協のPRを行い関係づくりを行った。

(P36「SDGs EXPO 子どもの居場所づくり企業向け寄付啓発パネル展」参照)

2) 女性のつながりサポート事業

令和3年度に相模原市から受託した「女性のつながりサポート事業」を、市社協が独自事業として引き継ぎ、顕在化した女性を取り巻く課題の解消に向け、プロジェクトチームにおいて対象者へのアプローチ方法や必要な支援策の検討を行った。

ア プロジェクトチームの開催

回数	開催月日	内容
1	令和5年5月16日(火) 午後2時30分～4時 あじさい会館 ボランティア活動室	<ul style="list-style-type: none"> ・今までの経過について・今年度の取組について (10代20代女性の支援、非正規雇用女性の支援) ・ふたばRoomの開催について(日時内容決め、周知について)
2	8月9日(水) 午後2時～4時 あじさい会館 ボランティア活動室	<ul style="list-style-type: none"> ・今年度の取組について ・7月1日ふたばRoomの振り返りと次回の開催に向けて ・単身非正規雇用女性の支援について ・今後の進め方について
3	9月6日(水) 午後3時30分～5時 Zoom	<ul style="list-style-type: none"> ・単身非正規雇用女性の支援について ・*奥貫教授から女性の非正規雇用の問題と20～30代の女性の現状について助言をいただき、事業実施にあたっての話し合いを行った。
4	9月26日(火) 午前9時30分～11時15分 あじさい会館 ボランティア活動室	<ul style="list-style-type: none"> ・単身非正規雇用女性向けの事業について ・ふたばRoomの開催について
5	12月8日(金) 午後2時～3時 あじさい会館 ボランティア活動室	<ul style="list-style-type: none"> ・非正規シングル女性向けの事業について (職員役割分担と会場レイアウト、保健師の協力 市広報、あじさいメイツ会報への掲載、周知活動について) ・ふたばRoomの開催について(進捗状況の共有、チラシ配布、周知活動について) ・来年度の事業について
6	令和6年2月16日(金) 午後1時～3時 あじさい会館 福祉団体コーナー	<ul style="list-style-type: none"> ・第5回ふたばRoomの開催について (ハンドメイド、ボランティア・学生募集、役割分担) ・今後の女性のつながりサポート事業について ・来年度の相模女子大・奥貫ゼミとの連携について
7	3月11日(月) 午前9時～11時 南保健福祉センター 情報交換ルーム	<ul style="list-style-type: none"> ・プロジェクトチーム1年間の振り返り (実施できたこと、工夫したところ、成果、残された課題) ・成果物の作成について ・ふたばRoomの今後の開催について ・プロジェクトチームの解散

イ 相模女子大学・奥貫ゼミへの参加（4回）

場所：相模女子大学 マーガレット本館2階



ウ ふたば Room の開催

10代20代の女性が気軽に参加できるように、なんでも相談やハンドメイドコーナー、飲み物の提供等、ほっと息抜きができる場の提供を行った。

会場：南区地域福祉交流ラウンジ

回数	開催日時	内容	参加者数
1	令和5年3月20日(火) 午後1時～4時	<ul style="list-style-type: none"> 効果的なスキンケアとメイクを学ぶ「メイク講座」 女性相談員による女の子のための「なんでも相談」 3人 相模原の情報提供コーナー 推し活応援！ぬい撮り・アクスタ用フォトスポット 生理用品や寄付物品の配布 <p>*企業「花王」の社会貢献活動で講師を派遣いただいた。</p>	16人
2	7月1日(土) 午後1時30分～4時	<ul style="list-style-type: none"> 市保健師、本会職員による「なんでも相談」 2人 ハンドメイドコーナー（推し活うちわづくり） フリースペース 生理用品や寄付物品の配布 <p>*以降、相模女子大・奥貫ゼミの協力を得て実施。奥貫教授とゼミ生が参加。「なんでも相談」では南保健福祉センター保健師1人の協力を得て対応。</p>	6人 (新規4人)
3	11月10日(金) 午後4時～7時	<ul style="list-style-type: none"> 市保健師、本会職員による「なんでも相談」 3人 ハンドメイドコーナー（松ぼっくりツリー） フリースペース（飲み物の提供） 生理用品や寄付物品の配布 <p>*新たにセルフサービスによる飲み物の提供を実施。</p>	12人 (新規9人)
4	令和6年1月26日(金)午後4時～6時30分	<ul style="list-style-type: none"> 市保健師、本会職員による「なんでも相談」 1人 ハンドメイドコーナー（バレンタインボックスづくり） フリースペース（飲み物の提供） 生理用品や寄付物品の配布 <p>*地域のボランティアにハンドメイドの講師を依頼。</p>	7人 (新規1人)
5	3月22日(金) 午後4時～6時30分	<ul style="list-style-type: none"> 本会職員による「なんでも相談」 ハンドメイドコーナー（季節の折り紙） フリースペース（飲み物の提供） 生理用品や寄付物品の配布 	13人 (新規6人)



＜主な相談内容＞

- ① **仕事・アルバイトに関する悩み**：精神的な不安があるが、自立に向けて仕事をしたい。
- ② **生活の不安**：人とかかわり方に悩んでいる。大学での実習や課題がこなせるか心配。就職への不安。
- ③ **健康に関すること**：生理不順や女性特有の病気。通院費の支払いの負担感。
- ④ **パートナーとの関係**：彼氏が性行為の際に避妊してくれなかった。妊娠が不安だった。
- ⑤ **そのほか**：大学生が参加しやすいイベント企画を学んでおり、ふたばRoomの活動を知りたい。

＜参加者の感想＞

- ・かわいい空間で幸せな気分になれた。・親身にお話を聞いて頂けて嬉しかった。
- ・同年代の人とおしゃべりしてみたいなと思いました。・いろいろな経験ができて楽しかった。
- ・相談することに対して、考えてたくさん答えてくださり嬉しかった。



エ 非正規雇用ではたらくシングル女性のためのなんでも相談会の開催

非正規雇用で働く、おもに20代～40代までの子どものいないシングル（独身）女性を対象に、女性の専門職による相談会と、女性弁護士によるミニセミナーを開催した。

開催日時・場所	内容	参加者数
令和6年2月10日（土） 午後1時30分～4時 橋本公民館・大会議室	<ul style="list-style-type: none"> ・女性弁護士によるミニセミナー「非正規雇用のモヤモヤ」 ・女性専門職による相談会（弁護士、保健師、本会職員） ・生理用品や寄付物品の配布 <p>* 弁護士は本事業のアドバイザーである相模女子大・奥貫教授の紹介で労働問題が専門の加藤桂子氏に依頼。 保健師はNPO法人結プロジェクトに派遣依頼を行った。</p>	7人

＜相談内容＞

- ① **仕事に関する悩み**：派遣会社が倒産して給料未払い。職場での嫌がらせ。
- ② **生活の不安**：借金の返済が多く、将来のことを考えられない。
- ③ **健康に関すること**：生理痛。自身の体調不良。

＜参加者の感想＞

- ・なんでも相談で話を聞いていただけて、少し気が楽になり良かったです。
- ・雇用条件を見直そうと思いました。
- ・専門家である弁護士の方の説明もわかりやすく、良かったです。更に保健師さん、弁護士に詳しく相談に乗っていただきありがたかったです。



③ あんしんセンター事業

主に認知症高齢者、知的・精神障がい者等を対象に、日常生活上の自立や財産管理などを支援する各種権利擁護事業に取組み、併せて、成年後見制度の利用促進を図る中核機関として、「さがみはら成年後見・あんしんセンター」にて、行政や各専門職団体等と連携し、権利擁護に係る総合的な事業推進に取り組んだ。

1 日常生活自立支援事業

(補助・自主) 33,003,965 円

判断能力が不十分な障がい者・高齢者のために、福祉サービスの契約手続や日常生活費の出し入れ、公共料金等の支払代行、定期預金通帳などの重要書類の預りを行った。また、毎月第4火曜日に、弁護士による人権や財産に関する権利擁護相談を実施した。

相談援助件数

内 容	本事業の利用に関するもの					合 計
	認知症 高齢者等	障がい者			その他 不 明	
		知 的	精 神	身 体		
問合せ	14 件	-件	7 件	-件	3 件	24 件
初回相談	101 件	18 件	71 件	4 件	20 件	214 件
相談援助	3,083 件	813 件	5,030 件	116 件	112 件	9,154 件
合 計	3,198 件	831 件	5,108 件	120 件	135 件	9,392 件

利用契約者数（令和6年3月末）

区 分	認知症 高齢者等	障がい者			その他	合 計
		知 的	精 神	身 体		
① 福祉サービス利用援助・ 日常的金銭管理サービス	58 人	24 人	70 人	7 人	2 人	161 人
② 書類等預かりサービス	3 人	7 人	5 人	-人	-人	15 人
③ ①②サービスの両方契約者 (利用者数は、重複)	3 人	2 人	5 人	-人	-人	10 人
実利用者数(令和5年3月末)	61 人	31 人	75 人	7 人	2 人	176 人

権利擁護相談件数

内 容	高齢者	障がい者			合 計	
		知 的	精 神	身 体		
財産関係	相続・遺言	4 件	－件	5 件	－件	9 件
	財産侵害	2 件	－件	－件	－件	2 件
	財産管理	4 件	－件	－件	－件	4 件
	金銭・消費契約	1 件	－件	2 件	－件	3 件
人間関係	婚姻・離婚	1 件	－件	1 件	1 件	3 件
	家族・親類	2 件	－件	1 件	1 件	4 件
	隣人・知人	－件	－件	－件	－件	－件
	その他	－件	－件	－件	－件	－件
生活関係	日常生活の問題	－件	－件	1 件	－件	1 件
権利擁護 関係	成年後見制度全般	5 件	1 件	3 件	－件	9 件
	法定後見制度	1 件	－件	－件	－件	1 件
	その他	－件	－件	－件	－件	－件
	その他	－件	－件	－件	1 件	1 件
	合 計	20 件	1 件	13 件	3 件	37 件

権利擁護事業審査会の開催

回 数	内 容
年 5 回	契約締結能力の審査、契約者等への処遇方法等について検討

権利擁護事業内部審査会の開催

回 数	内 容
年 10 回	審査会で諮るべき事案に当てはまらない新規案件について、契約締結能力の審査、契約者等への処遇方法等の検討

連絡会等の開催

会議名	回 数	内 容
日常生活自立支援事業担当者・ 専門員・生活支援員連絡会	年 5 回	日常生活自立支援事業について連絡・周知・情報交換
日常生活自立支援事業担当者・ 専門員連絡会	年 8 回	日常生活自立支援事業について連絡・周知・情報交換・ 関連制度周知
日常生活自立支援事業担当者・ 生活支援員連絡会	年 6 回	日常生活自立支援事業について連絡・周知・情報交換

普及啓発事業等

区 分	内 容
あんしんセンター事業説明会	日常生活自立支援事業の事業内容周知の為、市新任職員研修や、地域包括支援センター開催の研修会等の中で事業説明を実施
あんしんセンター登録型生活支援員	市民後見人養成研修修了者を対象に、相模原市内に居住する障がい者・高齢者の生活費の出し入れや公共料金の支払代行、福祉サービスに関する情報提供等の援助業務を行う登録型の生活支援員による支援を実施

- 職員体制：あんしんセンター専門員 7 人、あんしんセンター生活支援員 9 人
あんしんセンター登録型生活支援員 3 人

2 法人後見事業

(自主) 7,275,700 円

認知症、知的障がい、精神障がいなどにより判断能力が不十分な方を対象に、家庭裁判所の審判による成年後見人等として、被後見人等の財産管理及び身上保護等の法定後見業務を行った。

初回相談・継続相談件数

内 容	本事業の利用に関するもの					合 計
	認知症 高齢者等	障がい者			その他 不 明	
		知 的	精 神	身 体		
初回相談	－件	1 件	－件	－件	－件	1 件
継続相談	－件	－件	－件	－件	－件	－件

支援件数

内 容	件 数
訪問等による直接支援	322 件
訪問以外の相談、連絡、調整等	1, 221 件

受任件数（令和 6 年 3 月末）

類 型	認 知 症 高 齢 者 等	障がい者		合 計
		知 的	精 神	
後 見	7 件	3 件	2 件	12 件
保 佐	2 件	5 件	5 件	12 件
補 助	－件	－件	－件	－件
合 計	9 件	8 件	7 件	24 件

権利擁護事業審査会の開催（再掲）

回 数	内 容
年 5 回	契約締結能力の審査、契約者等への処遇方法等について検討

- 職員体制：法人後見専門員 2 人

3 成年後見制度利用促進事業

(受託) 7,671,352 円

成年後見制度の利用促進を目指す中核機関として、福祉・法律の専門職等の権利擁護に関わる関係団体とのネットワーク構築を進め、成年後見制度の周知・普及啓発、相談支援等により制度の利用支援を図った。また、市民の身近な相談機関（一次相談機関）の支援を行う「二次相談機関」として、研修会の開催や成年後見人等の受任調整などを実施した。

1) 成年後見制度に関する相談の実施

職員対応による一般相談

認知症 高齢者等	障がい者			その他	合計
	知的	精神	身体		
268 件	42 件	89 件	5 件	18 件	422 件

相談の内訳

相談種類		合計
後見制度 利用前相談	法定後見制度	124 件
	任意後見制度	36 件
	課題整理	26 件
	申立相談	183 件
	小 計 (A)	369 件
後見制度 利用後相談	後見人の職務	16 件
	終了の事務	1 件
	小 計 (B)	17 件
市民後見人 (C)		2 件
受任調整/候補者選定 (D)		6 件
相談会/説明会 (E)		1 件
その他・不明 (F)		28 件
合 計 (A) ~ (F)		422 件

2) 成年後見専門相談の実施

月 4 回、親族後見人や福祉施設等の職員として成年後見制度に関わる方を対象に、司法書士等による成年後見制度や成年後見人等の業務に関する相談を実施した。

○ 相談件数 : 69 件

3) 成年後見制度等の説明会への講師等派遣（出前講座）

地域で開催される講座や説明会に専門職講師の派遣等を行い制度の普及啓発を行った。

○対応実績：3件

開催月日	開催場所	参加人数	内容
令和5年 5月24日（水）	相原地域包括支援センター	8人	「任意後見制度講演会～もしもの時に備えよう～」 講師 職員
令和5年 12月5日（火）	ケアラーズカフェ モンステラ	17人	「わかりやすい成年後見制度講座」 講師 職員
令和6年 3月17日（日）	さがみ湖リフレッシュセンター	10人 （個別相談2件）	「任意後見・委託契約（見守り・死後事務）遺言ってどうするの？」 講師 公益社団法人成年後見人センター・リーガルサポート相模原支部地区長 渋谷 健太郎 氏（司法書士）

4) 成年後見制度に関する無料相談会の実施

市民を対象に各区にて成年後見制度に関する専門職による無料相談会を実施した。

無料相談会開催実績

	開催区	開催日	開催場所	参加者数	
				講演会	相談会
第1回	中央区	令和5年10月14日（土）	あじさい会館	26人	17人
第2回	津久井	令和5年11月11日（土）	津久井保健センター	8人	4人
第3回	南区	令和5年11月18日（土）	南保健福祉センター	24人	14人
第4回	緑区	令和5年12月9日（土）	緑区合同庁舎	10人	3人
合計				68人	38人

無料相談会対応専門職実績

	専門職					合計
	弁護士	司法書士	行政書士	社会福祉士	税理士	
第1回	2人	2人	2人	5人	1人	11人
第2回	1人	1人	2人	2人	1人	4人
第3回	2人	2人	3人	3人	2人	12人
第4回	1人	1人	3人	2人	1人	6人
合計	4人	5人	10人	12人	2人	33人

5) 専門家委員の利用

センターに寄せられる相談に対し、市が委嘱する困難事例対応専門家委員（弁護士）の助言を得て対応を行った。（相談件数：0件）

6) 成年後見人等候補者選定のための受任調整

後見人等の候補者の選定に悩むケースについて相談を受け付け、適宜会議の開催等を経て候補者の推薦を行った。

① 成年後見人等候補者選定のための受任調整会議の開催

	開催日	議題
第1回	令和5年4月5日（水）	NO. R5-001 について
第2回	令和5年6月7日（水）	NO. R5-002 について
第3回	令和5年8月2日（水）	NO. R5-003 について
第4回	令和5年9月6日（水）	NO. R5-004 について NO. R5-005 について
第5回	令和5年10月4日（水）	NO. R5-006 について
第6回	令和5年12月6日（水）	NO. R5-007 について

② 受任調整件数：7件

7) 人材育成事業

主に一次相談機関を担う各機関の職員を対象に、センター職員による相談上のノウハウについての伝達を目的とした勉強会・説明会の開催や、専門職・学識経験者を講師とした研修会を開催した。

開催日	研修タイトル・テーマ	対象	参加数
令和5年7月7日～31日	一次相談窓口向け成年後見制度勉強会	一次相談機関職員	31人
令和5年 11月1日～12月22日	相談支援従事者向け勉強会	相談支援従事者（居宅介護支援専門員、相談支援専門員、MSW）	11人

4 市民後見人養成事業

(受託) 10,356,179 円

成年被後見人等に対して、地域の身近な存在である市民が社会生活の中で培った経験を生かした後見活動を担えるように市民後見人養成及びフォローアップ研修等を開催し、また、成年後見等の受任調整を行った。

1) 市民後見人養成研修

ア 7期生対象：市民後見人養成研修説明会の実施

開催日	会場参加者数
令和5年5月10日(水) <緑区>	3人
5月14日(日) <南区>	1人
5月16日(火) <緑区(津久井)>	1人
5月19日(金) <中央区>	3人
Webでの視聴(5月2日~19日)	22人
合計	29人

イ 7期生対象：市民後見人等選考委員会の実施(選考委員6人)

開催日	受講決定者
令和5年6月21日(水)	13人

ウ 7期生対象：市民後見人養成研修の実施

開催日	受講者数	修了者数
令和5年7月1日(土) ~令和6年1月22日(月) <計18日間>	13人	9人

エ 7期生対象：市民後見人養成研修修了式

令和6年3月11日(月)

2) 市民後見人受任調整会議

ア 市民後見人受任調整会議の実施

開催日	案 件	候補推薦者
令和5年6月7日(水)	新規1人	1人
令和5年8月2日(水)	新規1人	1人
令和5年9月6日(水)	交代1人	1人
令和5年10月4日(水)	新規1人	1人
令和5年12月6日(水)	交代1人	1人

※12月6日について申立前に本人死亡、交代に至らず

イ 市民後見人の受任状況

類 型	令和4年度末 受任件数	新規受任件数	受任終了件数	令和5年度末 受任件数
後 見	13人	3人	2人	14人
保 佐	1人	1人	1人	1人
補 助	—人	—人	—人	—人
合 計	14人	4人	3人	15人

※後見について新規1人交代

3) 市民後見人への相談及び事務支援

- 市民後見人受任後の活動について、後見事務支援及び相談援助を実施
- 受任後1年間は、毎月面談を実施

4) 市民後見人養成研修修了者へのフォローアップ研修(1期~6期生)

	開催日	参加人数	内 容
第1回	令和6年2月29日(木)	27人	「認知症の理解を深める」 講師 和泉短期大学 准教授 佐藤 美紀 氏
第2回	令和6年3月14日(木)	21人	「被後見人とのよりよい関係づくりの為のコミュニケーション」 講師 和泉短期大学 准教授 佐藤 美紀 氏
第3回	令和6年3月26日(火)	23人	「成年後見人としての死後事務の実際」 講師 社会福祉士 志方 洋一 氏

5 身元保証・死後事務支援

(自主) 2,276,119 円

1) みまもりエンディングサポート事業

市内に住居する単身で身寄りのない高齢者等が地域で安心して生活し続けるため、医療・福祉制度等を利用する上で想定される課題に対する相談及び支援を通じ、地域福祉の増進を図ることを目的に取り組んだ。

内容	緑区	中央区	南区	合計
問い合わせ	11 件	27 件	21 件	59 件
新規相談	1 件	8 件	9 件	18 件
継続相談	7 件	16 件	8 件	31 件
契約者数	1 件	3 件	1 件	5 件

2) おひとりさま終活サロンの開催

みまもりエンディングサポート事業の啓発及び、同じような境遇にある高齢者同士が交わり、相互に情報の共有や交換ができる機会を確保することなどを目的として開催した。

開催月日	開催場所	参加人数	内容
令和6年1月16日(火)	あじさい会館	32人	講話:「終活に大切なポイント相続、任意後見等」 道口 幸恵 氏(行政書士) 情報交換、交流会の実施
令和6年1月26日(金)	津久井公民館	16人	講話:「終活に大切なポイント相続、任意後見等」 道口 幸恵 氏(行政書士) 情報交換、交流会の実施

3) 終活に必要なエンディングノートの作成・配布

エンディングノート「Life Design」の作成をし、終活のきっかけとして配布。

4) 出張説明会及び講師派遣

みまもりエンディングサポート事業の説明及び講師の派遣

- ・対応実績9件 地域包括支援センター(大野中、橋本、相原、藤野)
- ケアマネ連絡会(南冠座、中央ケアマネ連絡会)
- イタコト展(会場 アリオ橋本)、綾瀬市社協、豊島区社協

④ 在宅福祉推進事業

1 ひとり暮らし高齢者等給食サービス事業

(受託・自主) 42,358,149 円

調理・買物が困難な在宅のひとり暮らし高齢者等に週4回(月・火・木・金)を上限に給食を配食することにより、食の確保、安否確認、孤独感の解消を図った。

利用者の状況					調理食数(実施日数 203 日)	
地域	登録者	実利用者	新規	廃止	地域	調理食数
緑区	68人	46人	14人	44人	緑区	7,835食
中央区	35人	33人	6人	13人	中央区	6,392食
南区	55人	53人	2人	12人	南区	9,988食
合計	158人	132人	22人	69人	合計	24,215食

利用者宅へ給食を手渡しで届ける市民参加による「配食協力員」は、中央区及び南区の一部地区で活動。

配食協力員等の状況	
区分	内容
配食協力員	51人
配食拠点	10か所

1) 行事食の実施

クリスマス給食の実施

クリスマスに給食の配食に合わせて、「令和6年カレンダー」を贈呈。カレンダーのために、地域のボランティアから約500点の絵画や書道等の作品が提供された。提供された作品をカレンダーに貼り付ける作業については、ボランティアの協力を得た。



2) 職員体制

職名	人数
ふれあいサービス相談員	5人

2 福祉用具無料貸出事業

(自主) 69,245 円

一時的に福祉用具を必要とする市民を対象に福祉用具の貸出しを行った。

福祉用具貸出状況

区 分	障がい者	高齢者	傷病	福祉団体	その他	合計
貸出件数	51 件	753 件	325 件	13 件	42 件	1,184 件
貸出点数	51 点	754 点	328 点	18 点	89 点	1,240 点

3 ファミリー・サポート・センター事業

(受託) 19,744,065 円

安心とゆとりをもって子育てができるよう、会員制による有償の子育て支援事業を行った。また、ひとり親で児童扶養手当受給世帯には、謝礼の半額助成を実施した。

福祉的な課題を抱える世帯が増加傾向にあり、他機関・事業との連携のもと支援を行った。

会員登録状況

区 分	会員数
利用会員	2,691 人
援助会員	695 人
両方会員	67 人

活動状況

各種活動実績	
利用実人数	375 人(両方会員 5 人含む)
援助会員活動実人数	172 人(両方会員 8 人含む)
利用(活動)回数	8,008 回

※ 両方会員：利用会員、援助会員両方に登録している人

会員拡充の取組

区 分	開催回数	参加者数等
入会説明会	36 回(毎月 3 区開催)	376 人
援助会員講習会	3 回(3 区開催)	50 人

会員研修等の取組

区 分	開催回数等	内 容	参加者数等
援助会員随時研修会	6回（3区開催）	小児救命救急講習 （講師：相模原市赤十字奉仕団）	88人
会報「子育てサポート さがみはら」発行	第36号 （令和5年12月）	・新型コロナウイルス感染症予防対策について ・援助会員講習会等募集 ・センターからのお願い	3,500部

利用会員世帯年齢別児童数

活動内容		
区 分	年 間 累計件数	月平均 件 数
保育所・幼稚園の送迎、登降園前後の預かり	1,891件	157件
学校の送迎及び登校前、帰宅後の預かり等	1,322件	110件
児童クラブの送迎、前後の預かり	788件	65件
子どもの習い事等の場合の援助	1,252件	104件
その他	2,755件	229件
合 計	8,008件	667件

年 齢	人 数	年 齢	人 数
0歳	103人	7歳	404人
1歳	234人	8歳	360人
2歳	298人	9歳	328人
3歳	347人	10歳	250人
4歳	375人	11歳	203人
5歳	392人	12歳	152人
6歳	411人	13歳以上	67人
		合 計	3,924人

ひとり親世帯等助成実績（登録者：28人 活動者：28人）

年間延べ利用者数	年間延べ活動者数	助成件数	助成時間	助成金額
106人	104人	477件	946.5時間	410,725円

幼児教育・保育無償化実績

利用証明書発行件数
-件

職員体制

職 名	人 数
ファミリー・サポート・センター推進員	1人
ファミリー・サポート・センターアドバイザー	4人

4 生活福祉資金の貸付事務

(受託) 21,017,600 円

新型コロナウイルス感染症の影響で減収した世帯に対して行った特例貸付事業について、県社協と共にその借受者のその後の生活状況を確認し、償還困難が明らかかな者に対しては、更なる償還猶予や免除につなげるよう個別の相談援助を行った。また、低所得世帯及び障がい者等の世帯に対し、民生委員・児童委員の援助のもとで、福祉資金や教育支援資金などの貸付けを行った。

貸付決定の状況

資金名	資金の内容	件数	貸付金額
福祉資金	障がいのある方の自動車購入に係る資金、エアコン設置に係る資金、転居に係る資金等	12件	1,039,000円
緊急小口資金	緊急かつ一時的な生計維持困難世帯への生活資金	9件	880,000円
教育支援資金	高等学校・短期大学・大学・専門学校の授業料等の資金	17件	11,751,000円
総合支援資金	失業者等、生活の立て直しのために必要な資金	-件	-円
合計		38件	13,670,000円

償還猶予の延長等相談援助状況

		件数		内容
状況確認シート	送付数	269件		償還開始する特例貸付猶予者へ特例貸付猶予者状況確認シートを送付し、生活状況や困りごと、猶予延長等の希望を確認した。
	回答数	161件		
	相談希望あり	138件		
	相談希望なし	23件		
生活再建検討会議	償還開始	69件	136件	相談希望のある借受人について、センター内にて生活再建検討会議を開催。回答された状況確認シートを基に必要な支援等を検討し、回答及び案内を行った。
	猶予申請	52件		
	免除申請	15件		

5 生活資金一時貸付事業

(補助・自主) 233,523 円

他からの借入が困難で、一時的に生活が困窮している世帯に対し、生活資金の貸付けを行い、世帯の経済的支援を行った。なお、規程改正により新規相談受付は、令和6年3月末日をもって終了とした。

貸付決定の状況

資金名	貸付金		償還金	
	件数	貸付金額	件数	償還金額
生活資金	一件	一円	26件	73,350円
修学資金	一件	一円	一件	一円
高校等通学資金	一件	一円	12件	6,000円
合計	一件	一円	38件	79,350円

1) 滞納者に対する督促等の状況

- 督促状の発送：2回
- 督促者数：延べ265件

2) 借受滞納者償還免除（欠損処分）

- 借受人が死亡、又は最終償還期限到来後10年以上経過しても借受人より償還させることが困難である人等
- 対象者：57人
- 免除額：3,500,250円

運用状況

令和4年度末	令和5年度			
年度末貸付金 A	貸付金 B	償還金 C	償還免除額 D	年度末貸付金 A+B-C-D
8,107,600円	一円	79,350円	3,500,250円	4,528,000円

6 要援護世帯生活資金貸付事業

(自主) 5,485,000 円

生活保護の申請に至った要援護世帯へ、生活保護費支給日までのつなぎ資金として生活資金の貸付けを行った。(貸付限度額5万円)

- 貸付件数：384件

7 ひとり親家庭高等職業訓練促進資金貸付事業

(補助・自主) 12,305,414 円

高等職業訓練促進給付金を活用して養成機関に在学し、就職に有利な資格の取得を目指すひとり親家庭の親に対し、高等職業訓練促進資金の貸付けを行った。

○ 貸付決定件数、交付金額

- ・ 入学準備金 : 9 件 4,217,800 円
- ・ 就職準備金 : 10 件 2,000,000 円
- ・ 住宅支援資金 : 4 件 1,360,000 円
- 8 件 1,549,500 円 (R4年度申請、R5年度執行分)

8 社会福祉事業振興資金貸付事業

(自主) 368,018,912 円

民間社会福祉事業の振興策として社会福祉施設の建設資金等貸付金の償還管理等を行った。

- 令和5年度末借入施設数 : 13 施設
- 貸付金元金残高 : 306,499,000 円

法人名	貸付日	貸付年度	貸付金額	償還回数	償還額内訳	
					償還済額	元金残高
(福)菊清会	H17.5.31	H16	64,398,000 円	19/20	61,179,000 円	3,219,000 円
(福)さがみの福祉会	H19.2.27	H18	50,500,000 円	17/20	42,925,000 円	7,575,000 円
(福)大地の会	H19.5.30	H18	26,300,000 円	17/20	22,355,000 円	3,945,000 円
(福)ムクドリ福祉会	H20.4.25	H19	21,300,000 円	16/20	17,040,000 円	4,260,000 円
(福)相模福祉村	H20.4.30	H19	119,700,000 円	16/20	95,760,000 円	23,940,000 円
(福)東の会	H20.5.8	H19	49,900,000 円	16/20	39,920,000 円	9,980,000 円
(福)小山地域福祉会	H20.5.16	H19	88,500,000 円	16/20	70,800,000 円	17,700,000 円
(福)新日本学園	H20.5.16	H19	170,000,000 円	16/20	136,000,000 円	34,000,000 円
(福)ユーアイ二十一	H21.4.14	H20	94,400,000 円	15/20	70,800,000 円	23,600,000 円
(福)東香会	H21.4.24	H20	52,800,000 円	15/20	39,600,000 円	13,200,000 円
(福)直源会	H23.4.18	H22	116,300,000 円	13/20	71,780,000 円	44,520,000 円
(福)蓬萊会	H24.6.6	H23	170,000,000 円	12/20	102,000,000 円	68,000,000 円
(福)報徳会	H24.6.15	H23	131,400,000 円	12/20	78,840,000 円	52,560,000 円
合計			1,155,498,000 円		848,999,000 円	306,499,000 円

⑤ 住民参加推進事業

1 ふれあいサービス(有料家事援助サービス)事業

(自主) 5,041,532 円

高齢者・障がい者世帯等の自立支援を目的に、会員制による家事援助・介助サービスを行った。

相談件数の状況

区分	高齢	障がい	母子	父子	傷病	出産	その他	団体	合計
緑区	28件	3件	1件	1件	4件	1件	1件	1件	36件
中央区	60件	11件	2件	1件	13件	5件	3件	1件	94件
南区	128件	16件	2件	1件	5件	8件	6件	1件	166件
合計	216件	30件	5件	1件	22件	13件	9件	1件	296件

個人会員

年齢	区分	
	協力会員	利用会員
30歳未満	1人	1人
30～39	2人	9人
40～49	7人	6人
50～59	19人	7人
60～69	32人	11人
70～79	45人	39人
80～89	9人	101人
90歳以上	1人	32人
合計	114人	206人

活動状況

区分	年間累計	月平均
利用人数	1,540人	128人
活動人数	937人	78人
活動延べ回数	4,564回	380回
活動延べ時間数	5,205.5時間	433.8時間

利用会員利用理由別内訳

区分		人数	
個人会員	高齢	身体障がい	13人
		知的障がい	1人
		精神障がい	3人
		認知症	5人
		傷病	68人
		その他	86人
		小計	175人
	障がい	11人	
	母子	2人	
	父子	1人	
	傷病	8人	
出産	10人		
その他	1人		
合計		206人	

協力会員入会説明会

緑区		中央区		南区		合計	
参加者数	登録者数	参加者数	登録者数	参加者数	登録者数	参加者数	登録者数
1人	2人	7人	4人	17人	14人	25人	20人

職員体制

職名	人数
ふれあいサービス相談員	5人

2 要介護認定調査事業

(受託) 31,348,561円

介護保険に係る要介護認定調査（新規及び区分変更）を受託し、介護保険サービスの質向上を図った。また、相模原市からの介護認定調査依頼件数の大幅増に対応するなど、自主財源確保に努めた。

受託件数

委託元	件数
相模原市	4,989件
他市町村	26件

職員体制

職名	人数
介護認定調査支援員	1人
介護認定調査員	24人

3 障害支援区分認定調査事業

(受託・自主) 6,391,792円

障害支援区分の認定調査を受託し、調査を実施した。

実施件数

内訳	件数
市内	659件
市外	47件

職員体制

職名	人数
認定調査担当職員	1人
認定調査員	2人

2) メンタルヘルス相談対応

相談件数（延べ）

区分	新規	継続	キャンセル	合計
件数	15 件	119 件	5 件	139 件

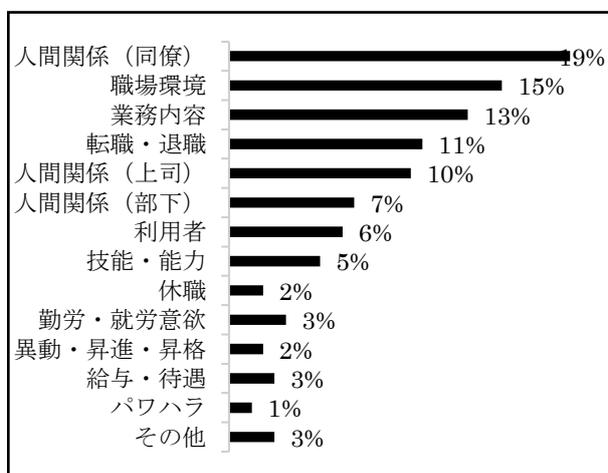
相談者実人数

人数
23 人

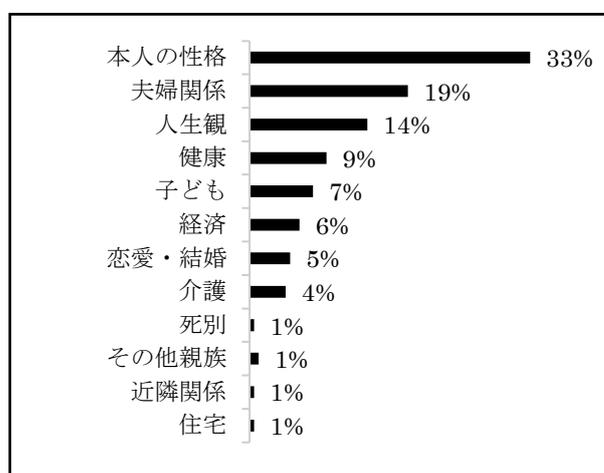
相談者年齢（月別実人数）

区分	20代	30代	40代	50代	60代	70代	合計
件数	3 人	4 人	5 人	8 人	2 人	1 人	23 人

職場内における相談内容



職場外における相談内容



⑥ 市民福祉会館運営事業

(受託・補助・自主) 108,594,443 円

1 あじさい会館管理運営事業

1) 開催日数及び利用状況等

高齢者や障がいのある方、母子・父子世帯及び各種団体、一般市民へ各施設の貸出しを行った。

区 分	日数等
開館日数	350 日
利用料収入	10,731,061 円

高齢者等福祉施設の利用状況 ※利用は、昼間（午前・午後）のみ

区 分 室 名	団 体			個 人
	件 数	回 数	利用者数	利用者数
第1和室	392 件	522 回	5,443 人	
第2和室	147 件	167 回	933 人	
第3和室	147 件	167 回	929 人	
大和室	2 件	4 回	200 人	2,944 人
ボランティア活動室	546 件	574 回	7,462 人	
合 計	1,234 件	1,434 回	14,967 人	2,944 人

一般利用施設の利用状況

区 分		利用件数	利用回数	利用者数
ホール		287 件	458 回	47,367 人
展示室	第1展示室	462 件	579 回	15,626 人
	第2展示室	374 件	488 回	9,186 人
	小 計	836 件	1,067 回	24,812 人
研修室		498 件	553 回	7,608 人
講習室		348 件	428 回	5,013 人
和 室	大和室	3 件	3 回	60 人
	第1和室	28 件	28 回	433 人
	第2和室	26 件	26 回	130 人
	第3和室	14 件	14 回	85 人
	小 計	71 件	71 回	708 人
合 計		2,040 件	2,577 回	85,508 人

2) あじさい会館利用促進事業・福祉啓発事業等の実施

会館1階ロビーを活用した「パネル展示」、障がい者施設と協働で実施する「ワークショップ」、「ロビーコンサート」を実施した。また、1階ホールを活用した乳幼児と一緒に鑑賞できる「クリスマスコンサート」を実施した。

ア ロビーパネル展（主なもの）

展示期間	内 容
令和5年4月1日(土)～4月30日(日)	世界自閉症啓発デーポスター等の展示 相模原市自閉症児・者作品展示
5月1日(月)～5月8日(月)	民生委員・児童委員活動パネル展示
5月11日(木)～6月7日(水)	NPO団体の活動紹介パネル展示
6月8日(木)～6月16日(金)	福祉マンガ「みんないいひと」原画展示
7月14日(金)～7月31日(月)	障がい者事業所利用者の絵画、手工芸作品展示
8月28日(月)～9月4日(月)	ボランティアチャレンジスクール参加者の感想等展示
9月6日(水)～9月29日(金)	世界アルツハイマーデー啓発パネル展示
10月12日(木)～10月23日(月)	「保育の魅力発信」写真展示
11月2日(木)～11月9日(木)	「介護に笑顔はよく似合う」写真展示
12月19日(火)～ 令和6年3月29日(金)	あじさい大学OB会（出展12団体）による絵画、 文芸等作品展示

イ 福祉ワークショップの開催

開催月日	内 容
令和5年7月24日(月)	障がい理解の促進を目的に、福祉ショップ「バオバブ」と共催し、小学生を対象に市内の障がい者施設等が取り組む製品づくりを体験する「ワークショップ」を開催した。 ・場所：1階ロビー 参加者：70名

ウ ロビーコンサートの開催

開催月日	内 容
令和6年2月14日(水)	障がい理解の促進を目的に、福祉ショップ「バオバブ」との共催により、市内の障がい者施設を利用する方々によるバレンタインコンサートを開催した。 ・場所：1階ロビー 鑑賞者：来館者延べ70名

エ ファミリーコンサートの開催

開催月日	内 容
令和5年12月9日(土)	<p>市民の参加・交流を目的に、子育て中の親子、また、祖父母が子や孫とともに、三世代が一緒に楽しめるクリスマスコンサート「音楽のおくりもの」を開催した。</p> <p>・場所：1階ホール 参加者：91名</p> <p>(1) 第1部 0歳児から鑑賞できる「わいわいコンサート」</p> <p>・参加者：51名</p> <p>(2) 第2部 4歳児以上から鑑賞できる「アフタヌーンコンサート」</p> <p>・参加者 40名</p>

3) あじさい会館の日・世界アルツハイマーデー普及啓発事業

認知症地域支援・ケア向上ネットワーク会議（市在宅医療・介護連携支援センター所管）が実施する世界アルツハイマーデー啓発事業「助けられ王国さがみはら」の一環として「映画会・トークイベント」及び「啓発パネル展示」を実施した。

開催月日	内 容
令和5年9月16日(土)	<p>市民の認知症理解の促進を目的に、パネル展示、映画会、トークイベントを開催した。</p> <p>(1) 認知症地域支援・ケア向上ネットワーク会議構成団体活動紹介等認知症啓発パネル展示</p> <p>(2) 認知症啓発映画会・トークイベント</p> <p>・上映作品「ぼけますから、よろしくお願ひします。 ～おかえり お母さん～</p> <p>・信友直子氏トークイベント</p> <p>・共催：友知草の会、じゅりの会、ふじの介護者の会</p> <p>・参加者：345人</p>

2 あじさい会館南分室（南保健福祉センター内）

開催日数及び利用状況等

高齢者や障がいのある方、母子・父子世帯及び各種団体、一般市民へ各施設の貸出しを行った。

区 分	日数等
開館日数	350 日
利用料収入	88,110 円

高齢者等福祉施設の利用状況

室 名	利用件数	利用回数	利用者数
高齢者交流室	588 件	593 回	7,872 人
情報交換ルーム	316 件	331 回	3,567 人
ボランティア活動室	299 件	333 回	3,020 人
合 計	1,203 件	1,257 回	14,459 人

一般利用施設利用状況

室 名	利用件数	利用回数	利用者数
高齢者交流室	22 件	22 件	265 人
情報交換ルーム	2 件	2 件	29 人
合 計	24 件	24 件	294 人

3 あじさい会館緑分室（緑区合同庁舎内）

1) 開催日数及び利用状況等

高齢者や障がいのある方、母子・父子世帯及び各種団体、一般市民へ各施設の貸出しを行った。

区 分	日数等
開館日数	358 日
利用料収入	145,600 円

高齢者福祉施設等利用状況

室 名	利用件数	利用回数	利用者数
高齢者交流室	578 件	589 件	5,947 人
情報交換ルーム	304 件	338 件	2,476 人
ボランティア活動室	224 件	233 件	1,620 人
合 計	1,106 件	1,160 件	10,043 人

一般利用施設利用状況

室 名	利用件数	利用回数	利用者数
高齢者交流室	53 件	53 件	831 人
情報交換ルーム	46 件	46 件	379 人
合 計	99 件	99 件	1,210 人

⑦収益事業

⑦ 収益事業

1 飲料水等販売・自動販売機等運営事業

飲料水等の販売及び自動販売機売上手数料収入等の収益を社会福祉事業の財源として活用した。

1) 社会福祉事業への繰入金支出額：12,700,000 円

2) 市内公共施設等への自動販売機設置

○ 67 施設 90 台

(うち、地域貢献型電光掲示板機能付自動販売機 47 台)

3) にこまるラッピング自販機の設置促進

○ 令和 5 年度 新規設置 1 台

(自主) 14,072,563 円

